

(追加合)

史料目録No. 3/2

調査資料
朝鮮銀行資料

戦争関係重要事項
日誌

自昭和十九年一月
至同五月

73545

田中鉄三郎氏関係資料

旧番号
い24(430)

金融史資料	
分類記号	IAx
整理番号	22(430)
資料名	田中鉄三郎氏 所蔵資料
保管容器	口108

研30009

通貨、金融史料	
分類	IBayy
整理番号	24/430
受人番号	V3813
名称	田中鉄三郎氏 所蔵史料
備考	



史料目録 No. 9/2

昭和十九年一月一日—十日

(1)

一月一日 土曜日

八三六〇 米機カピエンダ及ラバウルに來襲 帝國海軍航空部隊は午前カピエンダに來襲せる敵機百六機を遊撃其二十四機（内不確實十四）を撃墜した、我方の損害未歸還七機

帝國海軍航空部隊は午前ラバウルに來襲せる敵機約七十機を遊撃其九機（内不確實一）を撃墜した、我方の損害なし (八三一三)

八三六一 獨軍ジトミール撤退 獨軍當局は獨軍がキエフ西方の要衝ジトミール Zhitomir を激戦の後撤退した旨發表した (八三三七)

八三六二 獨總統の獨國民に對する年頭の辭 ヒットラー總統はドイツ國民に對し年頭の辭を送り其中に於て反極軸側では歐洲侵攻計畫に關し多數の情報を流布してあるが彼はドイツ國民に對し、最初から其れ等の企圖を推測し兵員物資の準備をした許りでなく上陸作戰に取つて決定的に重要であると思はれる諸地點を要塞化して萬端の準備を整へたことを保證し得る旨を述べた (七七〇三)

八三六三 スターリン首相ソ聯邦大元帥の稱號を授與さる スターリン首相はソ聯邦大元帥の稱號を授與せられた (八〇二二)

八三六四 敵一箇師團弱ニューギニア島タンピ脚に上陸 早朝一箇師團弱の敵はニューギニア島マダン東南東八十二軒のダンピ脚附近に上陸した、帝國陸軍航空部隊は該敵を攻撃中である

(八三四三)

八三六五 米機ヲバウル及ボマラに來襲 帝國海軍航空部隊は午前ラバウルに來襲せる敵機約四十を邀撃し其十機(内不確實三)を撃墜した、我方の損害未歸還三機
午前セレベス島ボネ灣ボマラに敵大型機四機來襲したが同地我守備隊は地上砲火を以て之を撃退した、我方に被害なし

(八三六〇)

八三六六 米艦船喪失發表 米海軍省は米驅逐艦バークス一四六五噸がニューギニア海岸に於て倭艦と衝突沈没し輸送船一隻がニューブリテン島沖に於て日本軍に撃沈された旨發表した

(八三〇九)

八三六七 獨軍ムルジエツト島占領 獨總統大本營は海軍部隊が海軍部隊支援の下にアドリア海のムルジエツト島 Murzeta から敵遊撃隊を掃蕩し同島を完全占領した旨發表した

(八二九六)

八三六八 英機ベルリン空襲 獨軍當局の發表に依れば英軍爆撃機は早曉ベルリンに來襲爆弾は住宅地區に集中投下されたが現在迄の報告に依れば獨夜間戦闘機が確實に撃墜せる敵四發爆撃機はドイツ領内に於て三十機北海洋上に於て十三機である

(八三三六)

八三六九 米空軍對獨空襲狀況 英本土を基地とする米陸軍第八航空部隊司令官イーカ

ーは、一九四三年を通じ同航空部隊はドイツ支配下の歐洲大陸に五萬五千噸の爆弾を投下した旨及過去二日間毎日米軍飛行機一千五百機が歐洲大陸空襲に参加したが其半数以上は四發重爆撃機であつた旨言明した (八三六八)

八三七〇 米昨年一月より十一月迄の貿易狀況 米商務省は一九四三年一月より十一月

迄の租貨物貨物輸出高を含み海外派遣米軍に對する輸送物資を除外した輸出總額は一、四一四一七〇千弗で前年同期の五九%に相當し、同期間の輸入總額は三〇八四百萬弗で前年同期の二二%に當る旨發表した (七八八〇)

八三七一 ポリヴィア米洲防衛委員會脫退 ウルグアイ駐劄ポリヴィア公使ヴァルデス

ムルスタはウルグアイ政府に對し同國副大統領グラニがポリヴィア新政府の承認は時期尙早である旨米洲防衛委員會に提案した事實に關して抗議したる後ポリヴィア政府は米洲防衛委員會(八二七一)より脫退する旨發表した (八三五四)

八三七二 チリ米洲防衛委員會決議否認 ブエノスアイレス發同盟電に依ればチリ

政府は米洲各國は米洲内に於る新政府の成立に當つては飽く迄共同動作を取る旨の米洲防衛委員會の決議を否認した (八三七一)

八三七三 土勃間通信連絡杜絶 トルコミブルガリア間の電信電話連絡は杜絶した

八三七四 我海軍航空部隊のボルゲン灣方面攻撃 我ラバウル基地の海軍航空部隊は夜
グロイスタ岬のボルゲン灣方面敵上陸兵力を攻撃し敵陣地に全弾を命中五箇所を爆
發させ一箇所を炎上せしめ全機歸還した (八三六四)

八三七五 米機ラバウル及シヨートランド島に來襲 帝國海軍航空部隊は早朝ラバウル
に來襲せる敵戦闘機約三十機を邀撃し其十一機(内不確實四機)を撃墜した、我方の
損害未歸還二機

午前ブーゲンビル島東端シヨートランド島の我陣地に敵艦載爆撃機八十一機が來襲
我守備隊は之を邀撃し其十機を撃墜した、我方の損害輕微 (八三六五)

八三七六 獨逸英本土襲撃 英空軍省の發表に依れば獨逸空軍は夜ロンドン並に英國東南
部海岸の都市を爆撃し損害と死傷者を出さしめた (七四一四)

八三七七 米艦爆破沈没 米海軍省發表に依れば米新型遠征艦ターナー號 Turner
一七〇〇噸がニューギニア河口沖サンディ・フック Sandy Hook 東北六哩の海面で爆
發沈没した (八三六六)

八三七八 イタリア社會主義共和國空軍の戦果 イタリア社會主義共和國政府の發表に
依れば同國戰鬥機部隊はトリノ市に來襲せる米英空軍を邀撃し其三機を撃墜した
(八二九〇)

八三七九 歐洲侵入英軍總司令官ロンドン着 歐洲侵入反樞軸軍英軍總司令官セントゴ

メリーは新地位就任のためロンドンに到着した (八二六九)

八三八〇 米大統領の病状 ロ大統領秘書アーリーは、大統領の病状は極めて良好だが

依然臥床してゐる、大統領は來週議會に一般敎書を送ることになつてゐるが果して其迄に全快するかどうか分らない旨發表した (八三三〇)

八三八一 亞ボリヴィア新政府承認 アルゼンチン政府はボリヴィア新政府を承認した (八三七一)

八三八二 一九四三年中の濠洲に於る艦船修理狀況 濠洲海相メイキンは、濠洲内の造船所が一九四三年十一月三十日迄の一年間に修理した商船噸數總計は一三、八一五千噸

に上り内三、一〇九千噸は米國船である、其他右と略同量の海軍艦艇が同様に入渠修理された旨發表した (八〇三九)

八三八三 對佛解放委員會英代表着任 對佛解放委員會英代表ダフ・ターパーは空路ア

ルジエールに到着した (七八〇九)

一月四日 火曜日

(3)

八三八四 米機カビエン及ラバウルに來襲 帝國編隊隊に海軍航空部隊は早朝カビエンに來襲せる敵機約七十六機を邀撃し兵十二機を撃墜した、我万編隊一機輕微な損傷を蒙りたる外損害なし

帝國海軍航空部隊は午前ラバウルに來襲せる敵機編隊二十二機を邀撃し兵十八機内不確實一機を撃墜した、我方の損害未詳三機

(八三七五)

八三八五 我陸軍航空部隊ニューギニア島グンビ附近攻撃 帝國陸軍航空部隊は夜二ユ一ギニア島グンビ附近の敵上陸地誌を反覆爆撃し三面所を炎上せしめ全機歸還した

(八三七四)

八三八六 プルガリア空襲 反艦軸空軍は正午ソフィア上空に飛來したが爆弾を投下せずプルガリア領内数箇所に盲爆を加へ、學校、病院等を破壊し住民間に犠牲者を出した

(八三四六)

八三八七 米空軍パー・ド・カレ一襲撃 英本土駐屯米空軍第八航空部隊司令部は米國マロ一ダ一爆撃機隊がパー・ド・カレ一線を襲撃した旨發表した

(八三八六)

八三八八 敵機ビストイア盲爆 反艦軸空軍はアペニン山麓のビストイアを盲爆し大洞窟、寺院等を破壊し市民の間に相當の死傷者を出さしめた

(八三八七)

八三八九 米西部海軍防衛司令官に對し十二海軍區司令官更迭 米海軍長官ノツクスは

第十一海軍區司令官少將アーサー・バグレイが一月十一日後任西海軍防備司令官に任ぜられる豫定であり、海軍少將ジョン・ドレイトン。ワインライトが第十二海軍區司令官に任ぜられた旨發表した

(八三一七)

八三九〇 印緬支派遣米軍副司令官任命 米陸軍少將ダニエル・アイソム・サルタン

Daniel Isom Sultan

はスチルウェル麾下の印緬支派遣米軍副司令官に任命さ

れた

(八三八九)

八三九一 米空軍の擴張計畫 米陸軍航空部隊司令官アーノルドは、米國は來る十五箇

月間に凡ゆる種類の飛行機十四萬五千の製作を實現し目下製作中の超重爆撃機をも本年中に其偉力を發揮せしめる旨言明した

(八三一八)

八三九二 米外國經濟院の權限擴張 從來米國農務省所屬の信用會社に依り行はれてお

た米國の海外に於る物資購入は今後一切外國經濟院の管轄下に置かれることとなつた

(七〇八九)

八三九三 在ドミニカ兵外交機關昇格 英政府はドミニカ駐劄同國外交機關に近く公使

館の地位を與へることとなつた旨發表した

(二八六〇)

八三九四 北京イタリ―護備隊返に天津イタリ―海兵團解散 昨年十二月二十九日北京

イタリ―護備隊デオ―パニ―少佐以下三十九名返に本日午前天津イタリ―海兵團カ

ロ―中佐以下百六十八名が夫々北京東交民巷の兵營及イタリ―租界海兵團營舎に於て

解散式を舉行しムツソリ―二首班に忠誠を誓ひ帝國の道義的借債の下に新生イタリ―
居留民として被足した

(八二六一)

八三九五 官紀肅正に關する四勅令案 戦時官吏服務令・文官懲戒戰時特例・巡査及府
防手懲戒戰時特例及各廳職員危篤又は退官の際に於る任用等の特例の四勅令が公布實
施せられた

八三九六 陸上小運送力の増強 政府は綜合的に陸上小運送能力を整備増強し其運営を
圓滑且能率的ならしめ以て戦力の増強と國民生活の安定に資することとなり陸上小運
送力増強に關する件が閣議に於て決定せられた

(八三五五)

八三九七 年初金融状況 日本銀行券發行高は本日現在九六二百萬圓と百億圓を割り
之を昨年末三十一日現在の一〇、二六六百萬圓に比較すれば三〇四百萬圓の同収が行は
れた、又之に併行して日本銀行貸出高も本日現在三、五〇一百萬圓と昨年末三十一日の
三、七四二百萬圓に比較して二四一百万圓の減少を示してゐる

(八三五六)

一月五日 水曜日

(9)

八三九八 フィンシハーヘン北方地區竝にマールカス、グロスター兩岬附近の戦況 大本營はニューギニア島フィンシハーヘン北方地區に於て力闘中であつた我部隊は敵の追躡を撃破しつつ逐次カラサ西北方地區に集結し態勢を整理中であつて昨年九月下旬以來現在迄に敵に與へた損害は約一萬六千名で我方の戦死傷は約三千名である旨及ニュープリテン島マールカス岬及グロスター岬附近の我部隊は引續き該地附近に上陸した計一億師團強の敵を攻撃中である旨發表した (八三八五)

八三九九 敵機キール、ステテン兩市襲撃 獨總統大本營發表に依れば反樞軸空軍がキール市 KIEL の市街地區、西部ドイツ及西部占領地區の數地點に白晝來襲したが獨軍は空中戦に於て四發爆撃機六十三を含む敵機八十一を撃墜した、更に夜英空軍がドイツ北部のステテンに急激爆撃を加へたが獨軍は四發爆撃機十六を撃墜した、斯くて反樞軸空軍は九十七機を喪失したが獨軍の損害は戦闘機二十である (八三六八)

八四〇〇 英艦隊伊ベサロ港砲撃 アドリア海に作戦中の英驅逐艦隊はリミニ BRELIT とアンロナ Anona 中流のベサロ港 PEARO を砲撃した (八三二七)

八四〇一 米撃沈航空母艦生存者數發表 米海軍省は昨年十一月二十四日ギルバート諸島水域で日本潜水艦のため撃沈された米航空母艦リスコム・ベイ號の生存者は二百六十八名である旨發表した (七九九四)

八四〇二 國戰以來の濠洲軍の損害 濠洲陸格フオードは歐洲戰爭開始以來の濠洲國軍

の損害は五六八九〇名に達する旨次の如く發表した

戰死一、八八四 負傷一五三三〇 行方不明三七七九 俘虜二五八九五

計 五六八九〇 (七〇七〇)

八四〇三 米潜水艦喪失 米海軍省は潜水艦ポンパノ號 Pompano 一三三〇噸を太平洋

作戦に於て喪失した旨發表した (八三七七)

八四〇四 英第八軍司令官後任發表 北阿反樞軸軍司令部は中將オリヴァー・リース

Oliver Lesele が後任イタリ―駐屯英第八軍司令官に任命された旨發表した (八三七九)

八四〇五 濠洲空軍司令官訪米 濠洲空軍司令官少將チミーズ・ジョーンズ George

Jones は新型飛行機並に飛行機整備状況視察のため米國に到着した

八四〇六 米大統領の病狀 米政府當局は口大統領の病狀は漸次快方に向つてゐる旨發

表した (八三六〇)

八四〇七 米内務次官任命 エーブ・フレイクスが米内務次官に任命せられた

八四〇八 昨年中に於る汎米航空社の大西洋横断線乗人員 汎米航空會社は向來のク

リッパ―線沿線が大西洋横断線空路で昨年中に輸送した人員は總計一萬六千名に達し

た旨發表した (八〇八一)

八四〇九 米英カリブ會議 米國務省は米英兩國政府はカリブ會議を開催することに決

定した旨及同會議に於てはカリブ海地域の社會並に經濟問題を協議するがカリブ海諸國に對し同會議に二名宛の代表派遣を招請する筈である旨發表した（八二七一）

八四一〇 米商務省に支那法律部設置 米商務長官ジョーンズは、治外法權の撤廢に伴

ひ支那の商法と米國會社との關係を調査するため商務省内に支那法律部を設置した旨發表した、尚イブラスラフ・スレバツクが同部長に任命せられた（四二七二）

八四一一 米鐵鋼工場建設中止 米戰時生産局は目下建設中の四鐵鋼工場の建設中止を命令した旨發表した（八三一八）

八四一二 米東海岸に於る漁業者の罷業 米東海岸ニュー・イングランド地方の漁業者は鮮魚の小賣價格に最高價格制を設ける趣旨の政府提案に不納で罷業を開始し既に六週間以上を經過してゐるが經濟安定局長官ヴィンソンは右罷業漁業者に對し今日の食糧は一割足りとも戰時遂行に必要である旨を述べて速かに復業するやう要求した（八三三二）

八四一三 米の對鐵道爭執特別緊急委員會設置 米政府當局はロ大統領が鐵道非乘務員友愛會の賞金値上要求を白紙狀態に還元して徹底的に檢討を加へるため特別緊急委員會を任命した旨發表した（八四一二）

八四一四 亞新國通信社統制令公布 アルゼンチン政府は同國內の新闢並に通信社の統

制令を公布し一切の新開通信社に登録制を實施した

(八三八一)

(12)

八四一五　モスクワ、ロンドン間國際電話開通　二月一日からロンドン・モスクワ間に

直接電話が通函することになったがロンドンに於ては送受証ともに英情報省を通じて行はれ且つ同省の検閲を要する

八四一六　佛印米對日供出協定調印　昭和十九年夏佛印産米及副産物の對日供出に關す

る協定が西貢に於て芳澤大使とドク・佛印總督との間に於て調印された、尙右と同時に邦人の佛印入國及在留に關する交換公文の效力延長に關する公文書の交換が行はれた

(四八五二)

一月六日 木曜日

(13)

八四一七 不夜ツバウルに米機 帝國海軍航空部隊は午前ツバウルに米機せる敵機高機

約四十を逸撃其八機を撃墜した、我方の損害未詳還二機 (八三八四)

八四一八 備軍ベルデエフ撤退 獨軍當局の言明に依れば獨軍はゾトミール南方の要

衝ベルデエフ而 Berdichev から撤退した (八三六一)

八四一九 英本國防衛司令官任命 英陸軍省は北アイルランド英軍司令官ハロルド・フ

ランタリン Harold Franklin が後任英本國防衛司令官に任命された旨發表した

(八二九七)

八四二〇 木昨年中の建造状況 米海軍次官フオレスタルは、米海軍省は一九四三年中

に凡ゆる型の航空母艦六十五隻を建造した、石の内六隻は二隻七千噸級エセツクス型、

九隻は巡洋艦を改造した一萬噸級小型航空母艦で五十隻は護送用航空母艦である、又

同年中に於る艦艇の建造噸数は百六十萬噸に達し、開戦當時の噸数の殆ど二倍に富り

一九四二年中に於る建造噸数の三倍に相當する旨言明した (八〇〇八)

八四二一 一九四三年一月以降十月迄の本祖會費續 日大統領は議會に左記の如き内容

の第十三回祖會報告を送つた

一、祖會法の成立した一九四一年三月以來一九四三年十一月三十日迄の祖會費は一八六

〇八五五三千磅に達した

一、一九四三年一月以降十月三十一日迄にソ聯に對して行はれた租賃高は三五五〇、四四
三千弗で其迄の租賃高の四分の一以上に當り主要内諺は飛行機七千、戦車三千五百、
自動車輪十九萬五千、軍靴五百五十五萬疋等であつた

二、同期間に於る英本國に對する租賃高は五九八〇、三七九千弗で租賃總高の四三%に當
る

三、重慶政権、印度、濠洲、ニュージールランドに對する租賃高は一、六三〇、三四六千弗に
達し内重慶政権及印度に對する分は八五六、八二四千弗に上り内六八%は軍需品であ
つてスチルウエルの麾下にある重慶軍隊は租賃品に依り裝備されてゐる

四、中南米諸國に對する租賃高は一、一六五、四三三千弗で其大部分は武器並に軍需工業用資
材であつた、アルゼンチンに對しては租賃は全然行はれてゐない(七八三四)

八四二二 一九四三年中の米國航空機生産状況 米航空商業會議所は昨年中の航空機生
産状況に就て次の如く發表した

一、米國航空機建造各社は昨年中に軍用機々々重量六億六千七百萬對度を建造した、右
に依り八萬六千機が建造せられたが一九四二年に比較して二倍半に相當する

二、發動機及プロペラの生産高は百十億弗に達したが一九四二年の生産高は五十億弗で
あつた

六、新超大型爆撃機 B 29 は既に本格的生産が行はれて居り某工場十二月中の同機生産高は

豫定計畫を突破してゐる

(八三九一) (15)

八四二三 米英兩軍需部社本國に於て告發せらる

及英國の帝國化學會社が米國トフスト禁止法違反の議を以て告發されニューヨーク市の聯邦地方裁判所に於て審理されることとなつた旨發表した

(五八四二)

八四二四 米港灣の荷役作業統一

米政府は米國諸港灣に於る貨物の管理並に荷役作業は今後一切國防運輸局の権限内に置くこととなつた旨發表した

八四二五 米造船所罷業

米フイブデルフイアのクランプ造船所 Grand Shipbuilding Yard の従業員組織會議系造船労働組合所屬労働者八十五百名が罷業を開始した

罷業の原因は會社當局の事業經營に對する不満である

(八四一三)

八四二六 伊ローマ部長任命

イタリイ社會主義共和國政府は前アボリ市長ジョヴァンニ・オルジエラをローマ部長に任命した

(八二九〇)

八四二七 大東亞戰爭公債八億圓發行

大東亞戰爭公債八億圓が預金部及日本銀行引受に依り發行せられた

(八三二四)

一月七日 金曜日

八四二八 米艦ラバウルに來襲

午前敵艦隊連合二日三十隻以上がラバウルに來襲我海軍航空部隊は之を遠襲其三十四機(内小機七)を撃墜した、我方の損害未詳二機

(八四一七)

八四二九

自由印度假政府のビルマ進出 自由印度假政府首班がー入は同政府首腦を帯同千前ビルマに到着し目田印度假政府は昭南よりビルマに進出し在印度米英軍を殲滅し印度民衆を其桎梏より解放する戦の最終段階に一步を置いた旨聲明した

(八一八九)

八四三〇

獨海軍並に商船高射砲隊の一九四三年中に於る敵機撃墜數 獨軍當局は獨海軍高射砲隊並に商船高射砲隊が昨年中に歐洲水域及獨軍占領地域沿岸上空で反樞軸軍機總計千七百七十四機を撃墜した旨發表した

(八三四四)

八四三一

獨國赤十字社の交戦國に對する警告 デュネーヴの獨國赤十字社本部は交戦各國に對し戦争の方法が逐次悪化し非戦闘員並に何等重要性なき文化的價値ある財産に損害を與へるに至つた事に重大關心を察し得ない旨及俘虜並に抑留民の法律的地位を勝手に變更し又は既に無力化した俘虜に對し報復手段に訴へることがない様要望する旨の警告を傳達した

(七四〇三)

八四三二

米陸軍女子補助部隊の兵力 米陸軍省は米國陸軍女子補助部隊の兵力が昨年中に三倍に増強され一月一日現在で將校兵士を含み六二、八五九名に達し内三、〇〇二名が海外に派遣されてゐる旨發表した

(六〇三六)

八四三三

一九四三年並に同年十二月中の木飛行機生産高 米戦時生産局長官ネルソンは、昨年十二月中の飛行機生産高は八八〇二機で一九四三年中の生産高總計は八、三九

四六に達し、種別から見ると大型機の生産増加著しく殊に重爆撃機は生産豫定計畫を突破した旨發表した

(八四二二)

八四三四 マツカーサー推薦俱樂部大會 米カリフォルニア州マツカーサー次期大統領候補推薦俱樂部委員長アレ・ワオルスターは、全本のマツカーサー俱樂部代表者が十七日シカゴで大會を開催正式にマツカーサー大統領候補推薦運動を開始することになった旨發表した

(八三五一)

八四三五 伊共和憲志願兵募集中央事務局設置 イタリア社會主義共和國統帥ムツソリ一二は、ファシスト黨は各地域に志願兵募集中央事務局を設置し現在迄軍務に服さなかつた十七歳から三十七歳迄のファシスト黨員を二月一日迄に右事務局に於て徵募する旨及事務局は黨員以外の登録をも行ふ旨布告した

(八〇九二)

八四三六 チェッコスロヴァキア大統領ロンドン請着 亡命チェッコ・スロヴァキア大統領ベネシユはワスタワからロンドンに請着した

(八一三八)

八四三七 英軍需會社爆發事件 英グラスゴウのインペリアル化學工業會社に夜爆發事件が発生し會社建物に大損害を生じた、爆發の原因は不明であるが爆發物が何者かにより投入された形跡がある、同社では二週前にも同種の爆發事件があつた

八四三八 昭和十九年度八特別會計豫算案決定 昭和十九年度朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、關東局、南洋廳の五地特別會計並に政府出資特別會計、帝國鐵道特別會計資

本勘定、逕信事業特別會計資本勘定の各豫算案が閣議に於て決定せられた

(八二三八)

(18)

八四三九

第二次中央官廳権限の地方移譲並に簡素化件數 第二次中央官廳権限の地方

移譲其他簡素化すべき事項の件數が左の通り閣議に於て決定せられた

許可認可事項五三件 稟議事項五四件 報告事項一八七件 其他一一件 計三〇五
件 (八一六八)

一月八日 土曜日

八四四〇

昨年十二月中の反樞軸空軍爆撃に因るイタリア各地被害状況
獨軍當局は昨年十二月中に於て反樞軸空軍はイタリアの五十八都市を爆撃し家屋二千戸を倒壊又は大破せしめ死者市民八百七十五名同軍人二十八名、負傷者市民一千七百九十名を出さしめた旨發表した

(19)

八四四一

反樞軸空軍ユーゴスラヴィア襲撃

反樞軸空軍爆撃機隊は北部ユーゴス

(八三一六)

ラヴィアの工業都市マルブルク *Marburg*

を盲爆した

(八一七二)

八四四二

ソ聯ユーゴスラヴィア軍編成

赤軍機關紙赤い星はソ聯領内に於て新にユ

ーゴースラヴィア軍が編成され目下訓練されてゐる旨及同軍の司令官は屠ユーゴース

八四四三

米艦逐艦二隻進水

米海軍省は護送用艦逐艦二隻が大西洋岸の某造船所に於

(八二四八)

て進水した旨發表した

(八二四三)

八四四四

反樞軸イタリア管理委員會副委員長更迭

北阿反樞軸軍司令部は現デブラル

タル總督中將マクファールレンが反樞軸イタリア管理委員會副委員長に任命された旨發

(七九六五)

八四四五

米太平洋艦隊司令長官桑港米陸海軍々事會議より歸任

米太平洋艦隊司令長

官ニミッツは桑港に於て開催された陸海軍々事會議に出席本日眞珠港に歸着した

(七九七四)

米徴集延期特典の範圍縮少
米選舉徴募局は兵役登録者にして十八歳乃至二十一歳の者が從來其職種に依つて認められてゐた徴集延期特典の範圍を大中に縮少する旨の徵集延期特典に關する改正令を公布した、二月一日より實施せられ最低十一萬五千の父親にあらざる丁が新たに徴集されることとなつた (八二一五)

八四四六 米國造船高は一八五六隻一九二二九千重量噸である旨左記の如く共同發表を行つた
八四四七 一九四三年の米國造船高 米海軍委員會議に戰時海運局は一九四三年に於る米國造船高は一八五六隻一九二二九千重量噸である旨左記の如く共同發表を行つた

八四四八 米加利知事次期大統領選舉立候補聲明
米カリフォルニア州知事ウオーレンは正式に次期大統領選舉に立候補する旨聲明した (八四三四)

八四四九 日マ法王の比島共和國成立に關する祝意表明
マニラ發同盟電に依りはラウル大統領は比島共和國の誕生を報告したのに對し法王應では比島駐劄法王應使節との挨拶を述べ比島共和國の誕生を報告したのに對し法王應では比島駐劄法王應使節との挨拶を述べ比島共和國成立に對し祝意を表明せる返電を傳達

八四五〇 宣用船 一一四隻
尙右の内輸送船數隻及航空母艦十九隻が含まれてゐる (八三四九)

八四五一 宣用船 一一四隻
宣用船 一一四隻

八四五二 宣用船 一一四隻
宣用船 一一四隻

八四五三 宣用船 一一四隻
宣用船 一一四隻

八四五四 宣用船 一一四隻
宣用船 一一四隻

した

(七三八一)
(21)

一月九日 日曜日

八四五〇 米機ラパウルに來襲 帝國海軍航空部隊は午前ラパウルに來襲せる敵機約百

五十機を激撃し其五十二機(内不確實十九)を撃墜した、我方の損害未歸還二機

(八四二八)

八四五一 獨軍キーロヴオグラード撤退 獨軍當局は獨軍が中部ウクライナのキーロヴオ

グラード KIROVOGRAD から撤退した旨言明した

(八四一八)

八四五二 英地中海方面反樞軸空軍副司令官任命 英空軍省は英海岸防衛空軍司令官空

軍中將サー・ジョン・スレッツサーが地中海方面反樞軸空軍副司令官に任命され同軍司

令官イラ・シー・イーカーの下に於て英空軍の指揮に當る旨及空軍大將サー・ジョル

ト・タダラスが後任英海岸防衛空軍司令官に任ぜられた旨發表した(八四一九)

八四五三 米造船所罷業中止 米ファイラデルフィアのクランプ造船所罷業労働者は投票

の結果罷業を中止するに決定した

(八四二五)

八四五四 英昨年十二月中の出炭状況 英政府は昨年十二月中の出炭高は十一月に比較

して十五萬二千噸の減少を示した旨發表した

(八一〇六)

八四五五 元リトアニア大統領死去 元リトアニア亡命政權大統領アンタナス・スメトナ

はクリーヴランドに於て死去した

八四五六 中華民國參戰一周年 中華民國參戰一周年に當り午後七時から東條首相、汪中

華民國主席及張滿洲國々務總理の日華滿三國交驩放送が行はれた、尙青木大東亞相も南

京放送局を通じて録音放送を行つた

(四二五六)

八四五七 日滿間輸出入手續の簡捷化 日滿間輸出入手續の簡捷化に關する件實施要領が

大藏省から發表せられた二月一日から日滿間に新通關制度が實施されることとなつた

(七八六九)

一月十日 月曜日

八四五八 赤軍の舊ポーランド國境突破 獨軍當局は赤軍が舊ポーランド國境内五十六
軒のサルヌイ Sarni に到達した旨言明した (八四五一)

八四五九 赤軍のケルチ上陸 獨總統大本營發表に依れば赤軍は早朝ケルチ地峽北部に
上陸作戦を試み兵力の一部揚陸に成功したが獨砲兵隊並に急降下爆撃機隊は上陸部隊
の大半を撃退し目下上陸赤軍に對する包圍殲滅戦が行はれてゐる (七六四四)

八四六〇 獨軍サン・ヴィットレ撤退 獨軍當局はイタリヤ戰線の獨軍はカツシノを
距る六哩のサン・ヴィットレ San Vittori から撤退した旨言明した(八三一五)

八四六一 ソフィア空襲 獨總統大本營發表に依れば反樞軸空軍は正午と夜間の二回に
亘りブルガリアの首都ソフィアを盲爆したがドイツ、ブルガリア防空隊は敵機二十二
機(内不確實九)を撃墜した (八四四一)

八四六二 英歐洲侵入反樞軸軍參謀長任命 陸軍少將ウオルター・スミスが歐洲侵入反
樞軸軍參謀長に任命された旨英政府當局から發表せられた (八四五二)

八四六三 米議會開會 米國第七十八議會第二會期は正午開會せられた、議會の構成は
次の通である

上院	民主黨	五八名	共和黨	三七名	進歩黨	一名
下院	民主黨	二一八名	共和黨	二〇八名	進歩黨	二名
	勞働農民黨	一名	米國勞働黨	一名	缺員	五名
						(八三〇七)

八四六四 米議員の軍務召集免除

口大統領は陸海軍兩長官に對し上下兩院議員に對しては今後軍務召集を免除するやう命令した

(八四六三)

八四六五 イタリー諸問委員會開催

イタリー諸問委員會が夜イタリー南部の某地に於て開催された

(七九六五)

八四六六 チアーノ伯等に死刑を宣告する

ムツソリーニ統帥に對し叛逆を行つたチアーノ伯及舊フアシスト評議員會員十七名はヴェロナ市のベツチオ城に開かれた特別裁判に於て死刑を宣告された、法廷に出席したのはチアーノ伯、デ・ボイーノ元帥外三名であつた(取消「八〇四七」チアーノ伯處刑」は取消します)

(八二八四)

八四六七 獨スエーデン間通商協定調印

ドイツ政府代表ルター博士とスエーデン政府代表ベツグロフとの間にドイツ、スエーデン兩國間の通商協定が調印せられた

(六一五三)

八四六八

青森函館間石炭の特別輸送實施に關する山下内閣顧問の現地視察 政府は青森函館間の貨物輸送力増強に資するため内閣顧問山下龜三郎氏を現地に特派視察せしめ石炭の特別輸送を實行することとなつた旨本日の朝刊紙に於て發表せられた

(八〇三三)

昭和十九年一月十一日ト十七日

(25)

十二月三十一日 金曜日

補遺

八四六九

ビルマ方面我陸軍航空部隊昨年十二月中の戦果

ビルマ方面帝國陸軍

航空部隊は昨年十二月中に於て敵船舶五千噸級五隻、中型船二隻、六千噸乃至七千噸級六隻計十三隻を撃沈した

(八〇三五)

一月四日 火曜日

補遺

八四七〇

駐日勃公使更迭

ブルガリア政府は前駐ブカレスト公使ストーヤン・

ペトロフ・チヨマコフが駐日公使に任命された旨發表した (三四五八)

一月七日 金曜日

補遺

八四七一

一九四三年中に於る米労働罷業状況

米労働省は一九四三年一月以降

十一月末迄に三四二五件の労働罷業が発生した、全国的な石炭罷業は前後四回発生し喪失労働日数は一二七〇〇千日に上つた旨發表した (八四五三)

一月十日 月曜日

補遺

八四七二

米戦時生産局次長任命 米戦時生産局長官ネルソンはモリリー・メイ
ヴァリツクを同局次長に任命した (五三三四)

補遺

八四七三

在ソフイア帝國公使館員無事 在ルーマニア筒井公使から外務省着公
電に依れば本日の反樞軸空軍のソフイア爆撃の際帝國公使館事務所にも一部被
害があつたが山路公使以下館員並に在留邦人は何れも無事である(八四六一)

××

××

××

××

一月十一日 火曜日

八四七四

敵機臺灣に來襲 敵爆撃機數機午後十時頃臺灣高雄及鹽水附近に來襲した、
我方の損害は極めて輕微 (七九〇五)

八四七五

米空軍中部ドイツ襲撃 獨總統大本營發表に依れば米空軍は早朝ドイツ中部
地區を襲撃したが獨空軍は之を邀撃し重爆撃機百二十四機を含む百三十六機を撃墜し
た (八三六九)

八四七六

東南アジア反樞軸軍を英第十四軍と改稱 英政府當局は東南アジア反樞軸軍
司令官マウントバツテン麾下の英軍を今後英第十四軍と呼稱する旨發表した
(六六五四)

口大統領は年次一般教書を議會に送り彼は今次大戦に引

續き再び新たな災厄を招くやうなことがあつてはならぬと固く決意して居りカイロ、
 テヘラン會談に於ては彼は敵を撃破するための作戰計畫に就ては言質を與へたが其他
 には何等の秘密協定はなく又言質も與へられなかつた、今次大戦の要求に應じ大部分
 の國民が任務に従つてゐる時に特定の階級の爲に特別の恩惠を要求する一部の人々の
 あるのは遺憾であつて彼等は戦争は既に勝つたも同然だからもう努力を緩めてもい
 のだといふ誤つた考に支配されてゐるが東京及ベルリンへの道は未だ遠い、戦争に凡
 ゆる精力と資源を集中し同時に公正且つ安定せる國內經濟を確保するために現實的な
 増税法、戦争契約再協議法の存続、食糧價格法、經濟安定法の延長、國民徵用法の五
 項目の實施を議會に要請する、以上の戦勝措置は全人類が階級民族の別なく安全と繁
 榮を保障される新たな基準であるから第二の人權宣言とも稱し得るであらう旨を述
 べた

(四二四三)

米共和黨上院議員オースチン及下院議員ワズワースの兩議

員は夫々上下兩院に左記要旨の國民徵用法案を提出した

一、十八歳以上六十四歳迄の男子及十八歳以上四十九歳迄の女子は原則的に國家に依り
 徵用し得られる

一、徵用された者に對しても勞働組合に加入する權利を認める

一、國民徴用には選擇徴兵局が當る

一、國民徴用法實施後も原則として志願制度に依り國家の必要とする勞力に不足を告げ
た時始めて強制徴用を適用する
(八四七五)

八四七九 米勞働長官年次報告 米勞働長官パーキンスは左記の如き年次報告を發表し

た

一、米國の勞働者は毎月平均三億弗の戰時公債を購入し其約二百萬は陸海軍に入つた

一、戰爭に因り勞働組合員は著増し現在の組合員數は約一千三百五十萬と推定され勞働
組合員として團體契約の下で就業してゐる者は全産業勞働者の六〇%乃至八〇%に
達する

一、勞働罷業に因り喪失した勞働日は全體の〇・〇八%に過ぎなかつた

一、勞働者に對する社會保險は現在其適用を受けてゐない農業、家庭勞働者及今次戰爭
の除隊兵にも適用することが望ましい
(八四七一)

八四八〇 米國務長官のボリヴィア政府特使との會見拒否言明 ボリヴィア政府特使イ

トラルデはラ・パス出發華府に向つたが米國務長官ハルは記者會見に於て米政府とボ
リヴィア政府とは何等外交關係なく同國政府代表とは會見しない旨言明した
(八三八一)

八四八一 米國共和黨全國委員會開催 共和黨全國委員會がニューヨークに於て開催せ

られ一九四四年の大統領候補指名黨大會をシカゴに於て開催する件が滿場一致決議せられた

(八三五)

八四八二 濠洲の對米援助狀況 濠洲供給相ピースレーは、一九四三年八月三十一日迄

に濠洲政廳は國內駐屯米軍に對し衣服八百萬、食糧四六二九八噸を供給したが本年に於ては歲出豫算額は十億磅を突破することになるであらう旨言明した(八三八二)

八四八三 亞の樞軸系團體解散 アルゼンチン政府は樞軸的傾向の顯著な多數の團體に解散を命じた

(八四一四)

八四八四 ソ波國境問題 ソ聯タス通信社は、ソ聯ポーランド兩國國境問題に關しては

ソ聯政府は一九三九年に執行された國民投票を指摘したい、同投票の結果ウクライナ、白ロシア兩共和國はソ聯邦に編入されたのである、ポーランドはポーランド人が多數を占めてゐる領域が自國の權益であることを認識して獨軍に依り使用されてゐる領土を復歸させるこいふ形に於て再生すべきである旨を聲明した (八三〇三)

八四八五 亡命ギリシヤ政權イタリイ諮問委員會代表任命 亡命ギリシヤ政權は前駐伊

大使ジャン・ポリイチスをイタリイ諮問委員會ギリシヤ代表に任命した(三一三二)

八四八六 チアノ伯等處刑 ムソリニ統帥を裏切つた元伊外相チアノ伯等五名は午前ウ

エロナに於て銃殺された (八四六六)

八四八七 對南方地域爲替の中央儲備銀行集中 中央儲備銀行では中南支に於る對南方

地域爲替を同行に集中することとなり午前同行上海分行に於て備備銀行代表と正金、臺灣、帝國の日本側三銀行上海支店側代表との間に右に關する協定が調印せられた、一月十日より效力を發生する

(五五二二)

八四八八 増稅案 政府は國庫收入の増加を圖ること共に消費の抑制購買力の吸收に資するため今議會に直接稅間接稅を通じ十九年度二十二億圓平年度二十五億圓に及ぶ増稅案を提出することとなり所得稅法外二十九法律中改正法律案が閣議に於て決定せられた

(八二三八)

一月十二日 水曜日

八四八九 米機ラパウルに襲來 朝三回に亘り米戰爆連合約八十機がラパウルに來襲我地上部隊及海軍戰鬥機隊は之を邀撃其四機を擊墜一機を擊破した、我方の損害未歸還一機

(八四五〇)

八四九〇 獨軍ジャツツエ市占領 獨軍當局の言明に依れば獨軍竝にクロアチア軍はチトー政權の所在地ジャツツエ市 Tadjene を占領した

(八三六七)

八四九一 獨軍チエルヴァ口撤退 獨總統大本營は南部イタリイ戰線に於る獨軍が激戰の後チエルヴァ口 Cervaro 及同市東北の高地を撤退した旨發表した(八四六〇)

八四九二 米燈火管制訓練停止 米陸軍省及市民防衛局は今後米國內に於て燈火管制訓練

練を停止する旨發表した、但し海岸地方に於てのみ三箇月に一回日曜日限り訓練が行はれる
(八二〇二)

八四九三 米駐ペルー大使任命 駐ハイチ米大使ホワイト John Campbell White

はペルー駐劄大使に任命せられた

八四九四 米民主黨の下院に於る過半数喪失 米民主黨下院議員デイクスタインがニユ

ーヨーク大審院判事に就任するため議員を辭職したので民主黨は過去十二年間下院に於て占めてゐた過半数を喪失した
(八四六三)

八四九五 トルコ參謀總長更迭 現トルコ、エルジンカン軍區司令官カジム・オルベイ

將軍がテウフィク・チャクマツク將軍に代りトルコ軍參謀總長に任命された

(八一六四)

一月十三日 木曜日

(32)

八四九六 北支軍昨年中の総合戦果 昭和十八年中の北支軍総合戦果が左の如く同軍から発表せられた

交戦回数一五二三八 交戦敵兵力二〇五四五六一 敵遺棄死體一〇九八六二
俘 虜七四三四五 歸 順 一一五七二一
鹵獲品 山砲六 平射砲六 追撃砲二二三 重機關銃一三一
撃機關銃一、四三五 小銃六二、四七三 自動小銃五二〇 拳銃一一、四九一

(八三三五)

八四九七 米機マーシャル諸島に來襲 午前敵艦上爆撃機三十機戦闘機十機がマーシャル諸島ミレー島に來襲したが海軍守備隊は之と交戦其一機を撃墜他を撃退した

(八二三一)

八四九八 ニューギニア島西端に米機來襲 午前西部ニューギニア西端ケクワ及カイマナに夫々米四發爆撃機三機が來襲したが我守備隊は之を撃退した、我方被害なし

(八四八九)

八四九九 米機ボルネオ及セレベスに來襲 未明ボルネオのバリツクパン方面に敵軍爆撃機八機が來襲したが我海軍航空部隊は之を逸撃其六機を撃墜した、我方損害なし
十二日午後九時半より本日午前三時に亘り敵四發爆撃機十數機が堀ね一機宛セレベス

我が方ツサル方面に來襲したが我戰闘機隊は之を遂撃悉く擊退した、我方損害なし

(六五三九)

八五〇〇 米艦二隻喪失 米海軍省は駆逐艦ブラウンサン三一〇〇噸が昨年十二月二十

七日夕ロースタ岬沖合で日本空軍に撃沈されたが乗組員三百八名は救助せられ砲艦セント・オーガステンが一月六日同方面水域に於て沈没した旨發表した(八四〇三)

八五〇一 敵機ローマに來襲 反樞軸空軍九十機が正午過ぎローマに來襲したが獨軍戰

闘機隊は之を遂撃機二機を撃墜した、敵機は本空襲に於てヴァチカン市を距る二百米のヴィア・アマゴスタに大型爆弾を投下したが不發に終つた(八四四〇)

八五〇二 開戦以來の米陸海軍損害 米陸軍長官スチムソンは記者會見に於て開戦以來

一九四三年十二月二十三日迄の世界各戰域に於る米陸海軍の損害は一三九七五二名に達する旨左記の如く發表した

陸軍 戦死一六八三一 戦傷三八九一六 行方不明二四〇六七

俘虜二五四一五 計一〇五二二九

右の内イタリ―戦線に於る米第五軍の損害は次の通である

戦死 二七九八 戦傷一、七六二 行方不明 三、五五九

計 一八、一一九

海軍 戦死一五、一八六 戦傷 六、六一六 行方不明 八、四二九

存貯 四二九二 計 三四五二三

陸海軍總計 一三九七五二

(八三四七)

八五〇三 米方ダルカナル島航空部隊司令官任命 米陸軍省は少將ヒューバート・ハー

ブ / H. R. Harmon を方ダルカナル島駐屯米陸軍第十三航空部隊司令官に任命した

(八三九〇)

八五〇四 西阿軍部隊インド到着 東南アジア軍司令部は西アフリカ植民地原住民軍部

隊がインドに到着した旨発表した (六八一八)

八五〇五 米航空母艦進水 米海軍省は航空母艦サンセット *Sunset* が進水した旨發

表した (八四四三)

八五〇六 米大統領豫算教書 口大統領は總額九九七六九百萬弗の一九四四―四五會計

年度豫算教書を議會に送つた、概要は次の通りである

一、一九四〇年六月米國が本格的軍備擴張工作を開始して以來の戦費は總額三千九百七十億弗に達した、一九四四―四五會計年度に於る政府の歳出豫算は九九七六九百萬弗で内軍專關係費は九百億弗であつて之に對し新規増税なき場合の政府歳入豫想は四〇、七六九百萬弗結局不足額が五百九十億弗で斯くて一九四五年六月末現在の國債總額は二千五百八十億弗に達するものと豫想される、本豫算は戦争が一九四五年六月に至つても繼續してゐるといふ想定の下に作成されたのである

一、米國の戦備は今や完全に整ひ敵に決定的打撃を與へ得る態勢にあつて本年一月こそ
今次戦争最後の段階たる攻勢作戦開始の時期を劃するであらう、米軍兵力は尙充実
されてはゐるが既に除隊された者も百萬に達してゐる

一、工場施設其他戦時建設費は一九四二年秋を頂點として減少に轉じたが今後とも減少が
豫想される、即ち米國は現在迄に總額二百二十億弗に上る産業施設の擴張を行つた
併し軍の補給維持費は現在尙兵力が増大しつゝあるのに鑑み今後一層の増加が感
される

一、米國の守勢作戦期たる一九四一年十二月から一九四二年十月に至る期間の支出は四
百五十七億弗であつたが攻勢作戦に入つた一九四二年十一月から一九四三年十二月
に至る期間には八百三十五億弗に達した

一、本豫算は物價及賃金が現在の線に安定し待るといふ想定の下に作成されたもので、
之以上の昂騰がある場合は豫算の遂行が不可能となる許りでなく米國の戦時経済は
崩壊の危機に直面するであらう

一、將來の問題として次の六項目に對し夫々適當な対策を考慮したい、人的資源の改良
解除及其再就業問題、外國救済復興問題、戦時調整問題及平時移行への準備、公
共事業計畫、戦時契約解除及過剩物資の處分問題、資源の國際移動及食糧の補給
送問題等を含む國際的再調整問題

一、單に軍事的勝利を収めたのみでは不充分で同時に經濟の再建問題をも解決しなればならぬ、若し此再建事業に失敗するならば敵は假令軍事的に敗北しても再び立てるであらう、我々は勝利と平和とに對する準備を整へる責任がある、本豫算をして此二つの目的に合するものごしたい
(四二七四)

八五〇七 米罷業彈壓法案 米民主黨下院議員ハワード・スミス Howard Smith は、罷業を行ふ労働組合の法律的地位を剝奪して法律上の凡ゆる保護を停止し労働組合代表の労働關係局、戦時労働局の調停に出席することを禁止する趣旨の罷業彈壓法案を議會に提出した
(五九七八)

八五〇八 米國の對ボリヴィア經濟壓迫 米外國經濟院はボリヴィア國向け輸出の規制に對する米ボリヴィア混合委員會を解體し實質的にはボリヴィア國向輸出に就ては從來の簡易手續の適用を打切りボリヴィア政府が昨年十二月二十日以降發出した輸入推薦狀は悉く無効とした
(八四八〇)

八五〇九 米加州抑留邦人就業決定 過去二箇月間労働を拒否してゐた米カリフォルニア州ツール・レーク Fort Ord 收容所の抑留邦人は投票の結果就業することに決定した
(八一六三)

八五一〇 新西蘭首相濠洲訪問 ニュージールランド首相フレーザーは國防、労働、嶺山の三相を帝同ギヤンベラに到着した
(六七一〇)

八五一一 ウルグアイ駐ソ公使任命
ウルグアイ社会黨々首フルカニ Emilio Frugani
は駐ソ公使に任命せられた
(七六三五)

一月十四日 金曜日

八五一二 ラバウル上空に於る我空軍の戦果
帝國海軍航空部隊は午前ラバウルに來襲
せる敵機約百六十を邀撃し其九十九機(内不確實一八)を撃墜した、我方の損害未歸
還三機
(八四九八)

八五一三 獨空軍英本土襲撃
英空軍當局の發表に依れば獨空軍は夜ロンドンを爆撃建
築物が破壊された外死傷者を出した、又他の一隊は英本土東南部を爆撃した、尚ロ
ンドン爆撃が事前に空襲警報も發せられず不意打に行はれたので市内は相當の混亂狀
態を示した、軍事専門家の間には獨軍が無音飛行機を使用したのではないかとの觀測
が強まつて來た
(八三七六)

八五一四 英機獨中部地區に來襲
獨軍當局の發表に依れば獨軍は夜獨本土中部に來襲
した英空軍四發重爆撃機を最少三十機撃墜した、英空軍の爆撃は特定目標なく廣汎に
亘つて分散的に行はれた、英空軍當局の發表に依れば英軍爆撃機隊は夜獨中部ブル
ン スウィツク地方に燃弾二千挺を投下した
(八四七五)

八五一五 東部戦線北部に於る赤軍の攻勢
レニングラード戦線の赤軍は昨年夏以來の

沈黙を破り本日突如大攻勢を開始獨軍の包圍圈を突破バルト方面に進出するためレニ
ングランド西方三十軒のオライエンバウム Oriembaum 及イルメン Hliewa 湖北方の兩
地區から獨軍陣地に殺到激戦中である

(八四五八)

八五一六 歐洲諮問委員會開催 歐洲諮問委員會第一回正式會議が駐英米大使ワイナン

ト司會の下に開催された

(八一七四)

八五一七 亡命波政權の國境問題に關する聲明 亡命ポーランド政權はソ聯タス聲明に
對する回答として、ポーランド政府は米英兩國に依存し兩國が其干涉に依つてソ聯、
ポーランド兩國政府間に米英代表も參加する交渉を招來せしめるやう提案する、切く
して開かれる交渉はソ波兩國間の全未解決問題を包含し其解決はポーランド、ソ聯兩
國間に友好且永久的協力を齎すものでなければならぬ旨を聲明した、尙右聲明の爲は
駐英ソ聯大使グーセフに手交された

(八四八四)

八五一八 米元帥設置案 米上院海軍委員長ヴィンソン竝に下院海軍委員長ウォルシュ
の兩名は夫々上下兩院に陸海軍元帥設置案を提出した、同案は陸海軍に夫々二名宛の海
元帥を置き陸軍では參謀總長マーシャル、航空部隊司令官アーノルド、海軍では作戦
部長兼聯合艦隊司令長官キング、大統領附最高軍事顧問リーの四名を元帥に任命せ
んとするものである

(五一五一)

八五一九 米同胞週間 大統領は二月二十日から二十六日迄の一週間を同胞週間とし

米國民が人種的差別感を棄てて同胞としての團結を強化するやう國民に要請した

(八〇五一)

八五二〇 米下院委員會出征將兵投票法案否決 米下院選舉委員會は七票對五票を以て

出征將兵投票法案を否決した (八〇一五)

八五二一 米聯邦準備銀行總裁重任 ロ大統領は聯邦準備銀行總裁マリナー・イクレス

Marriner S. Eccles を同行次期總裁に再度任命した

八五二二 チリー閣僚辭任 チリー藏相マツテ及拓相ヴィアルは十二日大統領リオス

に辭表を提出リオスは本日之を受理した (八三七二)

八五二三 駐イラン蘇聯大使着任 新任駐イラン蘇聯大使コンスタンチン・ミハイロフ

はカプール經由空路テヘランに到着した (六七八四)

八五二四 重臣閣僚懇談會 重臣政府首腦懇談會が午後四時内閣迎賓館に於て開催され

重臣側岡田啓介、近衛文磨、米内光政、廣田弘毅、阿部信行、の五氏政府側東條首相

重光外相、賀屋藏相、嶋田海相、青木大東亞相、星野書記官長及原嘉道氏が出席した

(八〇〇二)

八五二五 郵便貯金利率の引下 政府は明年度より郵便貯金の利率を改めることとなり

郵便貯金利率子割合改正の件が閣議に於て決定せられ通常貯金利率は年二分六厘四毛に

据置貯金利率は年二分九厘四毛に引下げられることとなつた (七四三二)

八五二六 我陸軍航空部隊の敵飛行場攻撃 ニューギニア島方面帝國陸軍航空部隊は同島

マザブ、マラワ及びテンピの敵飛行場を奇襲し附屬施設宿營地等に損害を與へた外敵機

六機を墜し三十四機を撃破炎上し全機掃蕩した (八三九八)

八五二七 米海軍開戦以來の損害 米海軍省は海兵隊及沿岸警備隊を含む米國海軍が開戦

以來蒙つた損害は總數三、七二八名に達する旨左の如く發表した

戦死一、五三六 負傷 六、七〇八 行方不明八、〇一二

俘虜 四、二九二 計 三、四七二八 (八五〇二)

八五二八 米海軍省は驅逐艦バリソンがニューブリテン島沖で日本軍の攻

撃を受けて沈没した旨發表した (八五〇〇)

八五二九 濠洲驅逐艦進水 濠洲驅逐艦一隻がニュー・サウス・ウェールズの造船所に於て

進水バタアン Batavia と命名せられた (八三八二)

八五三〇 西南太平洋反樞軸空軍司令官華府歸着 米政府當局は西南太平洋反樞軸空軍司

令官ケニールが大統領及米軍首腦と協同のため華府に歸着した旨發表した(七一七一)

八五三一 米國務省改組 米國務長官ハルは國務省機構の改革を發表した。改革の主要點

は省内に外交問題の最高統帥機關として三委員會を設置したこと及省内を十二の局に分けたこと新機構の全貌は次の通りである

政策委員會 委員長國務長官、副委員長國務次官、外交政策上の重要問題に付國務長官を補佐す

戦後委員會 委員長國務長官、副委員長國務次官、戦後外交政策の樹立に當り國務長官を補佐し同時に具體的に其政策の實施にも參畫す

戦後外交政策諮問評議會 委員長國務長官、副委員長ノーマン・デーヴィス Norman Davis、マイロン・テーラー Myron Taylor、イザイア・パウマン其他民間有力者を以て構成す

國務長官附特別顧問 レオ・パスヴォルスキー、ジョゼフ・グルー、ギョーヂ・サリマン、ミカエル・マクダーモット、トーマス・フィンレター、ジョゼフ・グリーン、ロバート・リンチ

省事務局 (一) 歐洲局、局長ジエームズ・ダン James Dunn (二) 東亞局、局長スタンレー・ホーンベック Stanley Hornbeck、次長ジョゼフ・バランタイン Joseph Valentine、支那部、日本部、部長ロイ・ディックオーヴァー Roy Dickover、西南太平洋部、比島部 (三) 近東局 (四) アフリカ局 (五) 米洲局、局長ローレンス・ダツカン (六) 特別政治局、世界政治問題、國際安全保障及國際機構問題に當る (七) 運輸通信局 (八) 戦時經濟局、戦時生産局、戦時海運局、財務局、陸軍省、海軍省、反樞軸救濟復興局其他關係機關と連絡し戦時經濟問題の處理に當る (九) 經濟局、物資部、財政金融部 (十) 情報局 (十一) 庶務局

在外機關局

八五三二 米労働長官の労働力に關する言明 米労働長官バーキンスは記者會見(42)に於て、現在で米國の工業労働者数は頂點に達し來る數箇月間に労働者總数は急激な減少を示すであらう旨述べた

(八四七九)

八五三三 米大陸に於るユダヤ人 米洲ユダヤ人分布委員會南米部長ルイス。ソボルは十箇月に亘る南米地方の視察旅行を終へて本日ニューヨークに着き、歐洲を且はれたユダヤ人約十二萬五千名は今日迄に米大陸に押寄せたがラテン。アメリカ諸國は此等難民ユダヤ人に多くの便宜を供與してゐる旨を述べた

八五三四 ギリの輻軸國財産管理開始 ギリ政府は汎米外相會議の決議第五項に基き輻軸國財産の管理を開始する旨布告した

(八五二二)

八五三五 アルゼンチンに於る震災 アルゼンチン西部のサン。ホアン州一帶に亘り夜間震が起り死者五千名に負傷者七千名に達し同地方建築物の九割迄が破壊され震災の中心地サン。ホアン市の被害特に甚しく人口三萬の同市は廢墟と化した(八四八三)

八五三六 濠洲。新西蘭首相會議 濠洲外相エヴァツトは濠洲ニュージールランド南自治員首相會議に於ては濠洲及ニュージールランドの戦争協力及補給問題が協議されるであらう旨發表した

(八五二〇)

八五三七 ペルーに於る反政府陰謀 ペルー政府は同國の國家主義的分子に依る現政府打倒計畫が舊機變覺未來に防止された旨發表した

(四六五三)

八五三八 駐重慶政權英大使囑任 駐重慶政權英大使シ―モアは本國より重慶に囑任した

(七六六八)

八五三九 ビルマ國立銀行開行 ビルマ國立銀行の開行式が午前ランダーンに於て舉行せ

(八二七八)

八五四〇 臺灣中支那同無線電話開通 臺灣側臺北、基隆、高雄、臺中の四局と中支那側

(七八二五)

上海、南京、蘇州、杭州、無錫の五局に無線電話が開通した

八五四一 芳澤大使東京囑着 芳澤大使は七日サイゴン發昭南及マニラ經由本日午後東京

(五二二三)

歸着歸京した

一月十六日 日曜日

(44)

八五〇二 アイゼンハワーに 欧州侵入反艦軸軍最高指揮官アイゼンハワーに

同軍副指揮官テツダ（八二九七）が英本國に着任した旨及歐洲侵入反艦軸軍司令部は聯合國遠征軍最高司令部と呼稱する旨反艦軸軍司令部から發表された

（八二六九）

八五四三 米鐵道罷業解決 米鐵道三反變會は口大統領の提案時間給九錢補上案を承認

（八四一三）

八五四四 航空工業會 従米海軍に分れてゐた航空機の生産が軍需省に移管され一元的

生産に移行せるに呼應し民間側の生産部門を打つて一丸とし航空兵器總局の協力体たらしめ官民一体となつて航空機増産に邁進することとなり陸軍航空工業會、海軍工業會内の航空部門等を發展的に併合し新に軍需省官制に對應する航空工業會の發會式が午前新宿伊勢丹ビルに於て舉行せられ航空兵器總局長官遠藤三郎中將が東條兼輔軍需相より總裁事務取扱を委嘱せられ副總裁には内閣顧問部百潔、前海軍航空本部長片桐英百中將の兩氏が就任した

（七一四二）

一月十七日 月曜日

八五四五 米機ラバウルに來襲 帝國海軍航空部隊海上部隊並に地上部隊は午前ラバウ

ルに采獲せる敵機約二百機を墜撃し其日二機（四不確重十七）を墜撃した。本戦闘に於て我方船舶二隻沈没せる外損害なし
(八五二)

八五四 歐洲侵入米軍司令官任命 米陸軍中將ブラッドレー Omar Bradley は歐洲侵入反艦軸軍最高指揮官アイゼンハワー麾下の米軍司令官に任命された
(八五二)

八五七 米英の航空機名統一 米陸海軍省は米英航空共同委員會の決定を次の如く發表した

反艦軸軍に依り使用される米國製飛行機は混亂を避けるため統一した名稱を附されることとなつた。右に依り決定された新型飛行機の名稱は次の通りある

一、ニューパー・フォートリス、本年秋から第一線に使用されることとなつてゐる超重量爆撃機 B²⁹

二、ヘル・ダイブ、最近海軍航空隊に編入された新型志降下爆撃機

尚現在米英空軍に依り異つた機名を與へられてゐるものは原則として其儘従來の名稱が踏襲される筈である

八五八 英新型大輸送機の性能發表 英空軍省は英空軍の最新巨大輸送機アヴロ・リクス新型は自重三十噸で航程距離三千哩・時速三百哩で昨年十一月大西洋横断に十時間二十五分の記録を示した四發重爆撃機を輸送機に改造したものである旨發表した
(八五七)

八五四九 米上院浪費取締法案可決 米上院は三十七票對三十六票を以て富裕階級の浪費取締法案を可決した、向本法案は目下上院に於て審議中の新增税法案の附帯事項として採擇されたものである (八五〇六)

八五五〇 佛解放委員曾米代表華府謁看 米國務長官ハルは記者會見に於て佛解放委員曾米代表ウイルソン Edwin Wilson が政府當局と協議のため華府に謁見した旨發表した (八二七四)

八五五一 ヨロンピアの反暹軸同盟参加 ヨロンピア大統領ロベスは反暹軸同盟條約に調印した (八一〇二)

八五五二 ソ聯タス通信社聲明 ソ聯タス通信社はポーランド政權が其聲明に於てソ聯ポーランド國境としてのカーゾン線 Curzon Line 承認問題が無視されてある事實はポーランド政權が之を拒否したものとしか解釋出來ない、ソ聯政府はポーランド政權のソ聯政府との間に於る交渉開始の提案は輿論を瞞着することを目的としたものであるとの解釋を下してゐる、何となればソ聯政府は外交關係の断絶してゐる政府 (五四六〇) と正式交渉に入る地位に置かれてゐないことは容易に理解されるからである旨聲明した (八五一七)

八五五三 獨政府の米英兩國の宣傳否定 ドイツ政府當局はスエーデン各紙がUPロンドン電報として獨軍がスペイン及ポルトガル兩國に對し侵略行動を企圖してゐる旨の

報道を掲載してゐるが石は終始通稱でドイツ政府とスペイン及ポルトガルを離間乃至
兩國を威嚇しやうとする反極軸陣營の陋策に過ぎない旨言明した (八三六二)

八五五四 米産業別組織會議の反極軸労働會議参加 米産業別組織會議は六月ロンドン
に於て開催される反極軸労働會議に代表を派遣することとなつた旨發表した

(七六六二)

八五五五 濠洲新西蘭會談 濠洲ニュージーランド兩國代表は朝航空、移民、資源開發
等の諸問題に關し會談を開始した

ニュージーランド首相フレージャーは濠洲戰時閣議に出席し兩國の協力を強調した

(八五三六)

八五五六 濠洲に於る食肉割當制實施 濠洲に於て食肉の割當制が實施せられた、一週
の割當量は肉の種類に依つて一封度から四封度迄である (七四七八)

八五五七 重慶ロンドン間に於る無線通信 重慶政權は重慶とロンドン間に直通無線通
信が四月一日から開始されることとなつた旨發表した (八一九五)

八五五八 エジプト王儲逝去 エジプト國王儲モハツド・アリ Mohamed Ali は逝去し
た (七八二三)

八五五九 第一回軍需會社指定 三菱重工業會社以下百五十社が軍需會社法に基き軍需
會社に指定せられ指定令書交付式が午前首相官邸に於て挙行された (八五四四)

八五六〇 芳澤大使大東亞省訪問
次官と會談した

芳澤大使は午後大東亞省を訪問青木大東亞相山本同
(八五四一)

昭和十九年一月十八日—二十四日

一月十七日 月曜日

補遺

八五六一 亡命オランダ政權植民相訪米

ストツクホルム發讀賣特電に依れば亡

命オランダ政權植民相ファン・モイクは最近米國に到着し、オランダの植民地
が再び反樞軸國側の手に復歸した場合其行政を引繼ぐ政府を確立する爲に濠洲
に赴く意向である旨言明した

(二八七三)

××

××

××

××

一月十八日 火曜日

八五六二 我空軍印支航空路を奇襲

我陸軍航空部隊は午後印度重慶間敵空中輸送路を

奇襲し重慶向兵員資材を満載せる輸送機五機及戦闘機二機を撃墜した

(八〇三五)

八五六三 米機ラパウル及ウエワクに襲來

帝國海軍航空部隊は午前ラパウルに來襲せ

る米機約百十機を邀撃其五機を撃墜した、我方の損害未歸還二機

我陸軍航空部隊は午前九時ニユーギニア島ウエワクに突襲した米戦闘機九十八機を邀

撃其十七機（内不確實四）を撃墜した。我方の損害未歸還三機（八五四五）

八五六四 獨軍ブラツク島上陸 獨軍はユーゴースラヴィア沿岸スプリット港沖のブラ

ツク島に上陸した（八四九〇）

八五六五 歐洲侵入時期に關する英首相の言明 英首相チャーチルは下院に於て質問に

答へて、三月十五日迄に世界は史上曾て見ない最大の軍事行動を目撃するであらう旨
を述べた（八二六九）

八五六六 ポーランド英の單獨講和提案説否定 ポーランド政府は英政府の單獨講和提

案説に對するブラウダ紙のカイロ特電を全面的に否定した（八五一七）

八五六七 歐洲水域米艦隊司令長官歸任 歐洲水域米艦隊司令長官スタークはロンドン

に歸任した旨發表された（八二一三）

八五六八 米大統領病氣全快 口大統領は風邪全快後最初の新聞記者團との會見を行つ

た（八四〇六）

八五六九 米過去二年間の軍需生産高と産業の轉換問題 米戰時生産局長官ネルソンは

華府に於て開催された米國主要工業家の會合に於て演説し、米軍需工業は過去二年間
に飛行機十三萬四千、商船三千七百萬重量噸、軍艦三百七十萬噸、各種口徑火炮四十
二萬四千、戰車其他戰闘用自動車車輛十四萬八千、軍用自動車車輛百二十萬を生産し

た、最近米國內では産業の轉換問題が論議されてゐるが戦局の前途が一層明らかとなる迄は全面的産業轉換の如きは考慮出来ない旨を述べた (八四三三)

八五七〇 米黑人協會の國民徵用法案に反対表明 米黑人五百五十萬を代表する黑人協會はシカゴに大會を開催國民徵用法案反対の決議を採擇し議會に對し斯る法案を成立せしめないやう要求した (八四七八)

八五七一 米接收鐵道を經營者に返還 鐵道非乗務員友愛會と會社側との間に本日新賃金契約が成立し鐵道爭議は全面的に解決を見るに至りロ大統領は大統領令を以て陸軍の管理下に置かれてゐる全鐵道を經營者に返還するやう命令した (八五四三)

八五七二 米クライスラー工場職工長及オレゴン州鑄鐵工罷業 米情報局發表に依れば先週以來罷業を續けてゐたデトロイトのクライスラー工場の職工長罷業は漸次擴大しクライスラー關係五工場の職工長全部が罷業を開始した
オレゴン及ワシントン兩州の鑄鐵工約六千は戦時勞働局の調停案を拒絶して罷業を開始した (八五七一)

八五七三 米比島人歸化法案 米民主黨下院議員シエニングズ・ランドルフは、一九三四年五月一日以前に正規に米國內に於て永住許可を與へられた比島人に歸化權を認め
る趣旨の比島人歸化法案を議會に提出した (七七九八)

八五七四 英首相ロンドン歸着 英首相チャーチルは午前ロンドンに歸着直ちに下院に

出席した

(八一八七)

八五七五 亡命チエツコスロヴァキア政權派遣ソ聯大使信任狀捧呈 亡命チエツコスロ

ヴァキア政權派遣ソ聯大使ヴィクトル・ザハレヴィチ・レベジエフ・Victor

Zakharovich Lebejev は大統領ベネシユに信任狀を捧呈した (八一三八)

八五七六 比島情報局設置 比島政府は情報局を設置した旨發表した、局長には前カ

バビ事務副長アルセニオ・ルスが任命せられた (七九一三)

八五七七 軍需會社の金融機關指定 大藏省は軍需省指定の軍需會社の必要とする資金

を簡易迅速且適切に供給するため各軍需會社に對する所要資金の融通を擔當すべき個々の金融機關を指定することとなり日本の閣議に軍需會社に對する資金融通の件を報告すること共に即日各軍需會社並に軍需融資指定金融機關に對し夫々通牒を發した

(八五五九)

八五七八 緊急國民勤勞動員方策要綱並に緊急學徒勤勞動員方策要綱 國民勤勞總力の

最高度發揚を目的として國民勤勞配置の適正化其他國民勤勞能率の飛躍的向上を圖ること共に軍動員と緊密なる連繫を保持しつつ國家の動員所要數を充足する爲綜合的且計畫的國民勤勞動員を強力に實施するため緊急國民勤勞動員方策要綱が閣議に於て決定せられ女子挺身隊制度も整備強化されることとなつた

綜合的且計畫的學徒勤勞動員を強力に實施し戦力増強に挺身せしむること共に戦局の現

段階に處すべき學徒の教育練成を完からしむる爲緊急學徒勤勞動員方策要綱が閣議に於て決定せられた

(八〇一九)

八五七九 第二種工業部門企業整備 航空機の飛躍的増産に即應する爲第二種工業部門企業整備措置要綱が閣議に於て決定せられた

(八三五五)

一月十九日 水曜日

八五八〇 ニューブリテン島戦線に於る米インド人兵 米陸軍當局はニューブリテン島に於る米陸軍第五百五十八聯隊には二十種族以上のアメリカ印度人が多數入隊してゐる旨言明した

(八二八八)

八五八一 南伊戦線の反樞軸軍攻勢開始 南伊戦線カツシノ地區の反樞軸軍は過去二十四時間の間に數地點に於て大規模な攻勢を開始したが其目標はローマへの道路啓開の第一着手としてカツシノを攻略せんとするにあると思はれる旨獨軍當局は言明した

(八四九一)

八五八二 米陸軍長官の銃後戦線に關する言明 米陸軍長官は國民教用法案の審議を開始した上院陸軍委員會に於て米銃後戦線に於る愛國心の缺如は憂ふべき影響を前線將兵に及ぼすであらう、例へば最近の鐵道及鐵鑛業に於る勞働争議が前線將兵の士氣に深刻な影響を興へたことは想像に難くない旨を述べた

(八五七〇)

八五八三 米國民徵用法案審議無期延期 米下院陸軍委員會は國民徵用法案の審議を無

期延期することに決定した (八五八二)

八五八四 米租賃法創設以來對ソ租賃實績 米戰時經濟局長官クローリーは、米政府は

租賃法創設以來現在迄にソ聯に總額三八八七、八七四、千弗の租賃援助を與へ一九四三年

十一月だけで三億八百萬弗の軍需品を發送した、之を品種別に見ると飛行機七千四百

戰車三千七百、軍用トラクタ十六萬、シープ小型軍用自動車三萬、各型車輛三萬をソ

聯に提供した旨言明した (八四二一)

八五八五 米ペンシルヴェニア州に於る下院議員補缺選舉 ペンシルヴェニア州に於る

下院議員二名の補缺選舉に於て共和黨候補サミュエル・マフクロネル及同ジエームズ

ブラットが夫々民主黨候補を破り當選した (七九七九)

八五八六 ヲエネズエラ大統領訪米 ヲエネズエラ大統領メデーナ・アンガリーニ

Isaias Medina Angarita は華府に到着直ちに白雲館に於て口大統領と會談

した (七九一〇)

八五八七 英食糧相訪米 在華府英大使館當局は英食糧相ダンカンが現在華府に滞在中

なる旨發表した

八五八八 米勞働總同盟勞働者の住宅増築要求 目下米マイアミに於て開會中の米勞働

總同盟幹部會は、五百萬の勞働者を戰後少くとも十年間收容し得る包括的住宅計畫の

實施を聯邦並に各州政府に要求する旨を決議した

(七三七九) (55)

八五八九 英外相下院に於てソ波問題並にスペイン義勇軍等に關して言明 英外相イーデンは下院に於て質問に答へて、ソ波問題の友好的解決は吾々の刻下の急務で其成否は歐洲の將來に重大な影響を及ぼすであらう、問題は非常に微妙で吾々は最も慎重な態度で臨むことが必要であるが解決の方法に關し英國政府は決して希望を失つてはない旨言明した

(八五三二)

英外相イーデンは下院に於て、スペイン義勇軍が依然東部戦線に於て獨軍と協力してある事實は英スペイン兩國關係に重大な影響を及ぼすであらう旨を駐英スペイン大使を通じスペイン政府に通告した旨言明し更にスペインの同國港内に於るイタリイ船押留問題に關し既に駐スペイン英大使からスペイン政府に抗議を提出して居り更に同大使に強硬申入を爲すやう訓令した旨述べた

(八二二五)

八五九〇 伊獨間郵便物取扱開始 獨軍當局はイタリイ本國とドイツ本國其他獨軍司配下の領土との間に封書郵便物の取扱が開始されるに至つた旨發表した

(七五三七)

一月二十日 木曜日

(56)

八五九一 米機ラバウルに襲來 午前米機百八十機ラバウルに來襲我海軍航空部隊は之を邀撃し其三十八機(内不確實四)を撃墜した、我方損害なし (八五六三)

八五九二 獨軍ノヴゴロド竝に伊ミンツルノ市撤退 獨軍當局は北部戰線の獨軍がイルメン湖北方ヴォルホフ Volkov 河西岸のノヴゴロド Novgorod を撤退した旨發表した (八五一五)

獨總統大本營は伊戰線の獨軍は激戰の後完全に破壊されたミンツルノ市 Minturno を撤退した旨發表した (八五八一)

八五九三 英驅逐艦喪失 英海軍省は驅逐艦タインデール Tynedale 九〇四噸が沈没した旨發表した (八二五五)

八五九四 トルコ客船撃沈 トルコ政府當局はトルコ客船アルク號一四一四噸がガリポリより歸航の途中マルモラ海で撃沈された旨發表した (四二八三)

八五九五 マツカーサーの停年に關する米陸軍長官の言明 米陸軍長官スチムソンは記者會見に於て、マツカーサーは一九三七年十二月彼自身の要求で退役し其後再び現役に復した關係上停年法は彼には適用されないこととなつてゐる旨言明した (八一四六)

八五九六 米反樞軸軍の行動に關する報道禁止 米政府は國內の新聞通信社竝に國內駐

在各國特派員に對し糧軸軍の動き並に海上輸送に關して聊かでも示唆を與へるやうな一切の報道を特に差控へるやう警告した (八一二一)

八五九七 一九四四年に於る米飛行機生産計畫 米戰時生産局首席次長ウイルソンは、米國は一九四四年には飛行機十萬機以上を生産する豫定であるが戰闘用飛行機に重點を置き此種飛行機の生産は昨年と比較して五〇%の増加を豫想してゐる旨言明した (八五六九)

八五九八 米中西部地方に於る旱魃に因る農作物の被害 ブエノスアイレス發同盟電に因ればコロラド、ダコタ、アイオワ、ネブラスカ、カンサス、ミネソタ、イリノイの米中西部諸州は近來稀な大旱魃に襲はれ小麥、ライ麥、牧草等の被害著しく米國全體として此等作物の本年度作柄は既に二一%方の低下が豫想されてゐる (五七〇四)

八五九九 印度ベンゴール州に於る飢饉並に疫病に因る死者數 英印度事務相アメリーは下院に於て、一九四三年後半五箇月間に於る死者は百萬人見當と見られる正確な數字は未だ手に入らないが百萬を越えることはないと思ふ旨言明した (八一九一)

一月二十一日 金曜日

八六〇〇 米機ブーゲンビル島に來襲 米戰爆連合艇百機が晝間ブーゲンビル島東南端の我基地に來襲同地守備の我軍部隊は之を邀撃し其の十機を撃墜した、我方の損害は輕微 (八五九一)

八六〇一 獨軍カステルフォルテ奪回 南部イタリー戦線の獨軍は西海岸地區のカステル

フォルテ Castell'Orte を奪回した

(八五六四)

八六〇二 獨機英本土空襲 英空軍當局の言明に依れば爆撃機約九十機よりなる獨空軍が英本土南部を襲撃内約三十機は更にロンドン地區を襲撃し英防空陣は一九四一年以來の激烈且つ長時間に亘る防空戦を展開したが右空襲で損害及死傷を生じた

(八五一三)

八六〇三 英機獨中部襲撃 獨軍當局の言明に依れば英空軍爆撃機隊は夜ドイツ中部に來襲したが獨軍防空陣は四發重爆撃機四十機を撃墜した、尙英空軍省の發表に依れば英空軍は右空襲に於て爆撃機五十五機を喪失した

(八五一四)

八六〇四 ニューヨーク米英合同補給本部設置 米外國經濟院並に英國補給評議會は西亞方面に對する米英兩國の補給統合機關としてニューヨーク米英合同補給本部を設置した旨の共同聲明を發した

(五五〇四)

八六〇五 米の官吏軍人に對する警告 米戰時情報局長官デーヴィスは官吏軍人に對し左記諸點に關し言動を慎むやう警告した

一、戰爭終結時期を豫言せざること
二、戰爭中及戰後の經濟開發の可能性を論ずるには特に慎重たるべきこと
三、官吏は自己の責任外の政府活動に言及しないこと
四、政府施策軍需生産狀況に關する説明は正確を期すること

(八五八二)

八六〇六 チリ一の獨二銀行解散 チリ一政府はドイチエ・トランスアトランテイツシ

エ及パンコ・ヘルマニコ兩ドイツ銀行の國內支店を一月一日に遡り解散し銀行統制局
の管理下に清算を行ふ旨布告した (八五三四)

八六〇七 濠洲・新西蘭會談終了 濠洲首相カーチン及ニュージールランド首相フレージャー

一のキヤンペラに於る會談は終了した、濠洲政府は右會談に於て南太平洋に於る共通
の利害問題に關する共通の行動其他十一項よりなる協定が兩國間に於て調印された旨
發表した (八五五五)

八六〇八 昭南特別市第一回參事會開催 昭南特別市第一回參事會が午前華僑六、マラ

イ人四、インド人三、亞歐人一、アラビヤ人一よりなる十五委員、市政廳各部課長列
席の下に開催せられた (七一九五)

八六〇九 第八十四帝國議會再開 東條首相は再會議會の貴衆兩院本會議に於て施政方

針演説を行ひ今次戰爭勝敗の岐路は眞に紙一重であつて一に國民の必勝の信念に懸つ
てある旨を述べ航空戰力増強の急務を説き船舶損害の對策を強調して造船の飛躍的増
進を力説し最近米英の大東亞各地に於る非人道的盲爆に對しては遠からず報復する旨
を述べ印度解放には實力を以て積極的援助を送る旨言明した (八三〇六)

八六一〇 昭和十八、十九年度追加豫算議會提出並に昨年中の鹽價消化率 政府は昭和

十九年度一般會計追加豫算四九一、二九七千圓、同十八年度一般會計追加豫算案歳入

四七八〇六〇千圓、歳出四三三、七四五千圓、昭和十八、九兩年度各特別會計追加豫算を院内閣議に於て決定昭和十九年度一般會計本豫算案（八一—〇）並に昭和十九年度特別會計豫算案（八四—三八）と共に議會に提出した、右の結果昭和十八年度一般會計豫算總額は歳入一、三三七、三二一、五千圓、歳出一、四、五九、九〇八千圓となり昭和十九年度一般會計豫算總額は歳入歳出共に本豫算を合して一、九、九〇、七二六、七千圓となる。賀屋藏相は衆議院本會議に於る財政演說中に於て昨年中の國債發行額は一、八、二九、九百萬圓に上つたが之が消化率は一、七〇、七六百萬圓に達し九割三分三厘の消化率を示し順調な成績を收め得た旨を述べた。

（四五六三）

一月二十二日 土曜日

(61)

八六一一 米機ラバウルに來襲 帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は午後二時に互
りラバウルに來襲せる敵機約百七十機を邀撃し其六十二機（内不確實十二）を撃墜し
た、我方の損害未歸還二機 (八六〇〇)

八六一二 反樞軸軍イタリ―西岸上陸 米第五軍は西部沿岸に於て新行動を開始しネツ
ツノゴテル河口の中間地域に橋頭堡を確立するに成功した (八五九二)

八六一三 獨軍ネツツノ港撤退 獨軍當局の發表に依ればイタリ―戦線の獨軍はネツツ
ノ Nettuno 港を撤退した (八六一二)

八六一四 開戦以來の米海兵隊及沿岸防衛隊の損害 米海軍省は米海軍海兵隊及沿岸防
衛隊の開戦以來現在迄の損害は總數三五五七二名に達する旨左記の如く發表した

戦死一五五二〇 戦傷七二〇六 行方不明八五六二

俘虜 四二八四 計三五五七二 (八五二七)

八六一五 米第一航空部隊司令官任命 地中海反樞軸空軍司令官イ―カ―は少將カノン
John Cannon を米第一航空部隊司令官に任命した (八五四六)

八六一六 米戦争避難民局設置 大統領は大統領令を以て戦争避難民局を設置した、
同局の委員は國務、財務、陸軍三長官より成り主として歐洲方面からの戦時避難民の
救済に當る筈である (八二一四)

八六一七 地中海委員會米代表辭職 米政府當局の發表に依れば反樞軸地中海委員會米

代表エドウィン・ウイルソンは辭職した (八五五〇)

八六一八 英トリニダツト島に於て亞領事を逮捕 アルゼンチン政府は同國領事オスマ

ール・アルベルト・ヘルムート Osma Alberto Helmutte が英領西印度諸島の

トリニダツト島に於て逮捕された旨發表した (八四八三)

八六一九 大統領選舉に關する米民主黨全國委員會の決議 米民主黨全國委員會は華府

に於て開催せられ全國各州委員百餘名が出席全會一致を以て次期大統領選舉に大統領
候補者たらんことを口大統領に要求する旨の決議案を採擇した

郵政長官ウオーカーに代りロバート・ハネガンが民主黨全國委員會委員長に當選した

(八四八一)

八六二〇 駐米重慶政權大使歸國 在米重慶政權大使館當局は大使魏道明が蔣介石と協

議のため目下歸國の途にある旨發表した (三五八五)

八六二一 ウルグアイ及キューバ兩國ボリヴィア政府不承認決定 ウルグアイ政府はボ

リヴィア新政府不承認の方針を決定し同國駐劄ボリヴィア公使ヴァルガス・ミニンス
タースに對し二十三日内に國外に退去するやう要請した

キューバ政府はボリヴィア新政府不承認を決定した (八三八一)

八六二二 ヒットラー總統大島大使會談 大島大使は總統大本營にヒットラー總統を訪

問リツベントロツプ外相を交へ會談した

(六五一五)

(68)

八六二三 亡命西人民戦線領袖カサブランカ着 ストツクホルム發同盟電に依れば亡命

スペイン人民戦線領袖デル・グアヨは最近カサブランカに到着した

八六二四 在中支敵産國民政府に移管 在中支米英系敵産中の第二種重要企業關係三十
件の國民政府への移管式が午後上海アスターハウスに於て舉行せられた(八二三七)

一月二十三日 日曜日

八六二五 米機三百六十ラパウルに來襲 帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は午前

午後三回に亘りラパウルに來襲せる敵機約三百六十機を邀撃し其六十三機(内不確實

二十)を撃墜した、我方の損害未歸還十三機及地上に於る若干の損害(八六一一)

八六二六 米機香港に來襲 敵戦爆運合二十四機が午後香港に來襲帝國海軍航空部隊は
之を邀撃其四機を撃墜した、我方に損害なし (八二六四)

八六二七 三方面に於る我航空戦果 一月十八日以降本日迄のニューギニア、バンド海
及ビルマ・支那方面の我航空戦果は次の通である

一、ニューギニア方面 撃墜四十四機(内不確實十三)、驅逐艦二隻撃破

我方の損害自爆及未歸還十機、大破炎上五機

二、バンド海方面 撃墜十一機(内不確實二)、我方の損害自爆三機

三、ピルマ・支那方面

擊墜三十三機（内不確實十二）三百噸級船舶一隻擊破、

我方の損害自爆未歸還二機

（八三四一）

八六二八 レニングラード東南方に於て獨軍退却 レニングラード東南方に於る獨軍は

戦線突出部を撤退した

（八五九二）

八六二九 赤軍のクリミア半島上陸 獨軍當局の言明に依れば赤軍はクリミア半島のケ

ルチ東南方に上陸した

（八四五九）

八六三〇 在支米空軍改組 在支米陸軍第十四航空部隊司令官シエンノートは、第十四

航空部隊は戦術航空部隊と重爆撃機部隊の二部に分割せられ戦術航空部隊は軽爆撃機
隊と偵察機隊を含む戦闘機部隊から成つて居り重爆撃機部隊は將來日本本土に對し作
戦を起す場合に中核的航空部隊となるであらう旨を発表した

（七六七五）

八六三一 在歐洲米軍最高司令官 歐洲侵入反樞軸軍最高指揮官アイゼンハウアーは在

歐洲米軍最高司令官兼任を命ぜられ少將リール John C. Hitee が在歐洲米軍副司令官に少
將ベデル・スミス Walter B. Smith が同參謀長に任ぜられた、尙スミスは歐洲侵入反

樞軸軍參謀長を兼ねてゐる

（八六一五）

八六三二 米陸軍將官の年齢及數 ブエノスアイレス發同盟電に依れば米陸軍省は最近

昨年現在の米陸軍將官の年齢及數を左の如く發表した、即ち陸軍戦闘部隊の將官の五
六％は年齢五十歳以下、航空隊の將官の六四％は五十歳以下である。米陸軍の全現役

將官の中一五%が四十歳以下で最も若い者は三十三歳十一箇月である、退役から再召集された者を除き將官の数は全部で千百十四人に上り其平均年齢は五十一歳である

(65)

(八一五三)

八六三三 鐵道運賃並に通信料金の値上

運輸通信省は四月一日から左記の如く鐵道旅客

運賃の値上を行ふ旨發表した、即ち基礎賃率は現行の儘に据置き新に戰時特別賃率を設定し現行運賃の外に普通旅客には一軒當り三等五厘、二等一錢、一等一錢五厘、定期旅客には其六割に相當する特別運賃が加へられ右に改正通行税及對軒制の採用を合せて三等二十軒迄は一軒二錢五厘、百軒乃至百五十軒が一軒二錢七厘五毛に値上されることとなつた

運輸通信省では四月一日より通信料金の全面的引上を行ふこととなり今議會に郵便法中改正法律案を提出すると共に左の如く發表した、今回行はれる値上に依り初年度に於る増収見込額は一億一千七百九十萬圓に上り郵便葉書は最低額一錢の引上で三錢に有封書狀は七錢に電報料は十錢の引上で五十錢に改正せられる

(三六三七)

一月二十四日 月曜日

(66)

八六三四 米機ニューギニア島に來襲 米戦爆連合五十機が正午頃ニューギニア島マダン
地區に來襲同地我地上部隊は地上火器を以て其七機を撃墜した、同時刻頃敵戦爆連合四
十二機が低空を以て同島ハンサ地區に來襲我方地上火器に依り敵爆撃機七機（内不確實
一機）を撃墜した兩地區共に我方の損害は輕微であつた (八六三五)

八六三五 米航空母艦進水 米海軍省は航空母艦ハンクツク號二萬五千噸がマサチユセツ
ト州クインシーに於て進水した旨及戰艦艦綿ズーラ號四萬四千噸が來る二十九日ニュー
ヨークの海軍工廠に於て進水する旨發表した (八五〇五)

八六三六 一九四三年中の米國造船狀況 米海事委員會は年次報告を議會に提出昨年中の
米國造船狀況を次の如く報告した

一、一九四三年六月三十日を以て終つた一九四二―四三會計年度に於て新に八十一の造船
所が増設され三百以上の造船臺が新設された

一、一九四三年中の造船隻數は一、八九六隻一九二三―三八六二六重量噸に達した

一、一九四二年七月一日海事委員會は三五四〇隻の造船契約を行つたが一九四三年七月一
日には契約高は三、三二六隻に達した (八四四七)

八六三七 米除隊兵特別手當支給法案國會可決 米上下兩院協議會は左記内容の除隊兵特別
手當支給法案を可決した

米本土に於る將兵 服務期間六十日未滿者百弗、六十日以上者二百弗

海外乃至アラスカ駐屯將兵 服務期間に關係なく一様に三百弗 (七〇一五)

八六三八 英元帥デイル對日戰に關して言明 米英合同參謀本部英代表元帥デイルはデト

ロイト市に於て演説し歐洲戰が終了しても依然日本といふ強敵がある、米人中には英國は米國程に對日戰に力瘤を入れてゐないと思つてゐる者もあるやうだが之は大變な思ひ違ひである旨を述べた (八〇四三)

八六三九 米伯ペルー、コスタリカ、ヴェネズエラ五箇國ボリヴィア政府不承認發表 米

國、ブラジル、ペルー、コスタリカ及ヴェネズエラの五箇國は夫々ボリヴィア新政府を承認しない旨を發表した、尙米政府は駐ボリヴィア大使に同國引揚を命じた旨發表、ヴェネズエラ政府も駐ボリヴィア公使に對し即時同國引揚を命じた (八六二一)

八六四〇 ボリヴィア政府聲明 ボリヴィア政府は、外國政府は自由な各國の内政に干渉

出來ないといふのが國際法の原則である、米洲各國政府の不當な態度にも拘らずボリヴィア政府としては自國民の經濟的自治を確保する使命に邁進するであらう旨聲明した (八六三九)

八六四一 駐米ボリヴィア特使更迭 ボリヴィア政府は外務次官ヘルナンド・イトラルデ

を後任華府駐節ボリヴィア特使に任命した (八六四〇)

八六四二 ヒットラー總統ノールウエー首相會談 獨總統大本營はヒットラー總統はノール

ルウエー首相ヴイドクン・キスリング Vidkun Quisling の會見し歐洲大陸並にゲルマ
ン諸民族の將來に關する重要諸問題を共同戰爭の精神に基き討議した旨發表した

(五二八一)

八六四三 駐ソ英大使歸任決定 駐ソ英大使カーは歸任することに決定した(三九五二)

八六四四 臨時軍事費豫算等議會提出 政府は第十次臨時軍事費豫算追加案、昭和十九年

度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、同特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)、豫算外
國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件(追第二號)を議會に提出した。臨時軍事
費豫算は三百八十億圓(四五六三)で支那事務發以來の軍事費總額は一一二、一二八、五
六七、六一圓となつた。昭和十九年度一般會計追加豫算案は臨時軍事費の財源となる公
債の利子及公債發行に伴ふ諸費として二六、五八〇、八千圓を計上し之に本豫算、追加豫算
(第一號)を加へると明年度一般會計豫算は二〇、一七三、〇七六千圓となる。一般會計か
ら臨時軍事費中に繰入れられる重複勘定七、二〇五、六四一、千圓を控除すれば一般會計、臨
時軍事費、特別會計の總計は五〇、九六七、四三、四千圓となり前年度に比較すると一三、八七
六、七七六千圓の増加である。昭和十九年度公債發行豫定額は二八、五二、三百萬圓で前年度
豫定額に比較すると六、六四、三百萬圓の増加である。昭和十九年度一般會計豫算追加案は
歳出入共に二六、五八〇、八千圓で特別會計豫算追加案は國債整理基金二六、五八〇、八千圓、
公債金二、〇七五、五六一千圓である

(八六一〇)

昭和十九年二月一日―七日

一月二十九日 土曜日

補遺

八七四一 米機ラパウルに來襲

帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は午前二
回に亘りラパウルに來襲せる敵機二百五十七機を邀撃其三十九機（内不確實十
七）を撃墜した、我方未歸還五機

（八六九九）

一月三十日 日曜日

補遺

八七四二 米機ラパウルに來襲

帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は午前二
回に亘りラパウルに來襲せる敵機約二百九十機を邀撃其六十三機（内不確實十
九）を撃墜した、我方未歸還一機

（八七四一）

一月三十一日 月曜日

補遺

八七四三 米機ラパウルに來襲

帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は午前ラ
パウルに來襲せる敵機約百八十機を邀撃其十四機（内不確實四）を撃墜した、
我方未歸還二機

（八七四二）

一月中ラバウルに來襲せる敵機數、墜機數及我方の損害は次の通りである

計 三 二二二二二二二
 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十
 一 十 九 八 七 六 四 三 二 八 七 四 二 九 七 六 四 三 二 一
 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

三 一 二 二 二 一 二 三 一 一 一 二 一 一 二
 一 八 九 五 一 五 〇 八 六 七 八 一 〇 六 八 五 三 四 二 三 四 七
 五 〇 〇 七 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 二 〇 〇 四 〇 二 〇 〇 〇

來襲機數

八 一 六 三 九 三 六 二 六 六 四 〇 九 五 三 一 一 一
 六 四 三 九 五 四 七 四 三 二 三 五 二 九 四 二 四 八 八 一 〇 九

墜機數

六 二 一 五 九 六 六 〇 三 二 〇 二 〇 三 一 二 二 二 三 二 三 〇
 四

我方損害

××

××

××

××

二月一日 火曜日

八七四四 獨海軍一月中の戦果 獨軍當局は獨海軍が一月中に撃沈破した敵艦船數を次の如く發表した

驅逐艦二三隻 潜水艦四隻 船舶二四隻一三八千噸

(八三四四)

上陸用舟艇三隻 護衛艦二隻

八七四五 米國重慶政權商工評議會 米國及重慶政權商工業者から成る米國重慶政權商工評議會がニューヨークに於て結成せられ會長には米國代表トーマス・ワットソンが

選任せられた、同評議會は本部をニューヨークに置き華府、重慶、シヤトル、桑港等に支部が設置される筈である (八六二〇)

八七四六 駐米ソ聯大使館西の對獨援助に關して聲明 駐米ソ聯大使館は、スペインの支配者達は對獨援助工作を續けスペイン義勇軍はまだ東部戦線に於て封鎖に從事して居り一方スペイン政府は中立を聲明してあるに拘らずドイツに軍需品の供給を繼續してある旨聲明した (八七〇三)

八七四七 ソ聯加盟十六共和國に國防及外交權限賦與 モロトフ蘇聯外務人民委員は

第十回ソ聯最高會議に出席ソ聯邦加盟十六共和國に國防外務兩人民委員部を創設す

る件を提案其確認を要求したが會議は討論の後滿場一致同案を確認した

(94)

(八七〇八)

八七四八 亞駐西大使後任發表 アルゼンチン外相ヒルベルトは前駐米大使エスピル

が後任駐スペイン大使に任命された旨發表した

(八七三六)

八七四九 トルコ震災 トルコのアナトリア地方は大地震に襲はれ地震の中心地ゲレ

ド市 *Gerad* に於ては死者五百十四名負傷者三百二十八名に達しメンゲン市に於て

(八〇六一)

は倒壊家屋四百四十一戸に上つた

八七五〇 ラングーン大學再開 大東亞戰勃發以來閉鎖されてゐたラングーン大學は

(八五三九)

再開せられた

八七五一 南京地區關係敵産國民政府に返還 舊敵産たる官、公、民有土地建物の中

南京地區關係の建築物九百五十五件の國民政府への移管式が南京に於て舉行せられ

(八六二四)

た

八七五二 上海舊共同租界及佛租界合併 上海特別市政府は第一區(舊共同租界)及

第八區(舊佛租界)(六三一六)を合併し第一區とした

(六三四八)

八七五三 大東亞戰爭公債六億圓發行 大東亞戰爭公債六億圓が預金部及日本銀行引

受に依り發行せられた

(八六八三)

二月二日 水曜日

(95)

八七五四 敵機ローマ法王離宮を爆撃　ローマ法王廳はローマ東南三十軒アルバノ Albano
丘所在法王離宮カステル・ゴンドルフオ Castel Gandolfo　に爆弾が落下し相當の
損害を蒙つた旨發表した、尚右爆撃に因り同離宮の尼院は全壊し尼僧十七名が慘死し
た　(八五〇一)

八七五五 獨軍ロヴノ、ルツク及キンギセツプ撤退　獨軍當局の發表に依れば獨軍は舊
ボーランド領のロヴノ Rovno 及ルツク Luck を撤退した

獨總統大本營は北部戦線の獨軍がエストニア國境西方十八軒のキンギセツプ Kingisepp
市を撤退した旨發表した　(八七三三)

八七五六 英蔵相の米英租貨協定の適用に關する發表　リスボン發同盟電に依れば英蔵
相アンダーソンは最近下院に於て、米國政府は最近一九四三年十一月十五日以降に發
註された民需用特定物資に對しては租貨協定を適用しない旨遺言して來た旨發表した
(八四二一)

八七五七 一九四三年中に於るブラジルの護謨生産高　リスボン發同盟電に依ればブラ
ジル政府は、一九四三年中のブラジルの護謨生産高は三萬五千噸で一九四二年の生産
高の約二倍に當り中二萬五千噸が國外に輸出された旨發表した　(七〇三〇)

八七五八 カナダ工業生産局新設　カナダ政府は戦時下に於る労働爭議を防止し軍需生

産の支障なき運行を期するため政府の生産關係各機關代表を以て構成される工業生産局を創設し更に其諮問機關として勞資代表から成る委員會を設置した (五三四一)

八七五九 芬蘭大統領演説
フィンランド大統領リチはフィンランド國會の開院式に於て演説を行ひ、世界大戦は今や第五年に入り一層憂憤苛烈の度を加へるに至りフィンランド國民は從來と同様祖國の自由と獨立を確保するために戦つてゐるが以上の目的を達成する道は遠く且つ困難である、然しながらフィンランド國民は凡ゆる困苦缺乏に對して此等の困難を克服しなければならぬ、勿論大國間の抗争が歐洲並に世界の局に決定的影響を與へるであらうが各國民の運命を決定するのは主として各國民の責任であつてフィンランド國民が所期の目標を達成出来るか否やはフィンランド國民が堅忍持久祖國防備に一大犠牲を拂ふかどうかに依つて決するであらう旨を述べた (八七三二)

二月三日 木曜日

八七六〇 帝國潜水艦のマーシャル諸島附近に於る戦果
帝國潜水艦は未明マーシャル諸島ウオツゼ島附近海面に於て敵大型巡洋艦一隻を撃沈した (八七二三)

八七六一 米機ラバウル及ウエワクに來襲
帝國海軍航空部隊に陸海軍守備部隊はラバウルに來襲した敵機約二百二十機中二十六機 (内不確實九機) を撃墜三機以上を撃

破した、我方未歸還一機

午前米機戰爆九十六機がウエワタの我飛行場に來襲我方はこれを邀撃してB 二機を撃墜した、我方地上に於て五機大破又は炎上の損害を受けた (八七四三)

八七六二 獨空軍英本土襲撃 獨總統大本營發表に依れば獨空軍は夜ロンドン並にイン

グラント東南部を大舉襲撃各所に大火災を生ぜしめた (八七一〇)

八七六三 伊本土上陸以來の米軍損害 米陸軍次官パターソンは昨年九月イタリ本土

上陸以來本年一月迄の米第五軍の損害は二萬三千四百七名に達する旨次の如く發表した

戰死三三八四 負傷一四八七九 行方不明五一四四 計二三、四〇七

(八七三〇)

八七六四 米出征將兵投票法案下院否決 米出征將兵投票法案は下院に於て二百二十四

票對百六十八票を以て否決せられた (八六七四)

八七六五 米出征將兵投票法妥協案 米共和黨議員ロバート・タフト其他共和黨及民主

黨南部議員團を代表する一團は左記要旨の出征將兵投票法妥協案を上院に提出した

一、各州は本年六月一日迄に出征將兵の不在投票に關する規定を制定する

一、新る規定を制定しない州出身の將兵に對してのみ聯邦政府が其投票に干渉する

(八七六四)

八七六六 米一月中の造船高 米海軍委員長ランドは一月中の米造船高は百二十四隻で

ある旨及び月中に於る米國の造船量は過去一箇年を通じて最低であつたが之は冬季の
労働者が懸召した爲めである旨發表した (八六七七)

八七六七 米一月中の飛行機生産高 米飛行機製作委員會は一月中の飛行機生産高は八

千七百八十九機に達した旨發表した (八六七六)

八七六八 一九四三年中の米工業事故死傷者數 一九四三年中の米國工業事故死傷者數

は死者七萬四千名(内四萬一千五百名は就業中即死)負傷者九百七十萬名である旨政
府當局から發表された (五八七八)

八七六九 米白堊館豫算局長に農務次官更迭 米農務次官ポール・アツプルビーが白

堊館豫算局長にクロウヴァ・ビー・ビルが後任農務次官に任命せられた (八四〇七)

八七七〇 米デネラル・モーターズ會社能業 米デトロイトのデネラル・モーター

ズ會社シヴオレ―自動車工場の産業別組織會議系労働者約六千五百名は能業を開始し
た (八七一七)

八七七一 羅ユダヤ人財産沒收令公布 ルーマニア政府は同國と相互條約を締結してあ

る國の國籍を有するユダヤ人を除くルーマニア國內に於るユダヤ人の財産を沒收する
趣旨のユダヤ人財産沒收令を公布した (七一六〇)

二月四日、金曜日

(98)

八七七二 ビルマ方面帝國陸軍部隊印度進攻作戦開始　ビルマ方面帝國陸軍部隊はブチドン、アキヤブ正面に於て反攻を企圖してゐた英印軍に對しブチドン正面より攻勢を開始した、印度國民軍も亦各方面の我部隊に協力し戦況は順調に進捗してゐる
(八六六六)

八七七三 我軍印度チヤトラプール空襲　帝國海軍航空部隊は夜間セイロン島東北方六百哩印度ベンゴール灣沿岸のチヤトラプール Chattrapur を襲撃し同地附近の敵陸上施設を爆撃 四箇所に大火災を認め全機歸還した
(八五六二)

八七七四 敵機ラバウル及マダン地區に來襲　帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は來襲の敵機百四十三機中十一機（内不確實一機）を撃墜三機を撃破した、我方未歸還一機

午前敵戦爆連合九十八機が我マダン地區に來襲したが我地上火器はB₂⁵三機（内不確實一機）を撃墜した、我方戦死一輕傷三其他損害輕微であつた
(八七六一)

八七七五 帝國陸軍部隊の一月中に於る五方面作戦綜合戦果　帝國陸軍部隊の一月中に於る敵航空部隊に對する五方面進攻及邀撃作戦の綜合戦果が次の通大本營から發表せられた

一、支那方面 擊墜一四機 (内不確實 六) 擊破一〇機 我方の損害自爆三機

二、ビルマ方面 擊墜三九機 (内不確實一五) 擊破 五機 我方の損害自爆未歸 遺六機

三、バンドラ海方面 擊墜 七機 (内不確實 一) 擊破 二機

四、ニューギニア方面 擊墜一六二機 (内不確實四五) 擊破炎上四二機

我方の損害自爆未歸還一一機、大板炎上二〇機

五、ブーゲンビル島及ビスマルタ群島

擊墜七三機 (内不確實一一) 擊破一九機

計 擊墜破三七三機 (内不確實七八) 我方の損害四〇機 (八六二七)

八七七六 米空軍フランクフルトに來襲 在英米第八空軍司令部の發表に依れば米爆撃

機隊は晝間ドイツ西部のフランクフルトを爆撃千六百八十噸の爆弾を工業地域及交通

中心地に投下した、米空軍の損失は二十一機であつた (八七二五)

八七七七 敵機ツーロン爆撃 反樞軸空軍ツーロンを爆撃し同港に碇泊中の戦闘巡洋艦

ダンケルク號 Dunkerque (二萬六千五百噸) は直撃弾を受けて火災を生じ市内に死

傷者百四十名を生じた (八七五四)

八七七八 米重慶向新輸送機 ダグラス航空機會社は米空軍の許可を待てU4³双發輸送

機 (八六九一) 三十五機が重慶への空輸に従事するためインド同連航の途上各五噸の

貨物を搭載してブラジル、アフリカ間一千九百七十哩の飛行記録を作った旨發表した
(八〇八一)

(101)

八七七九 米陸軍經費節約額 米戰時勤員局長官バーンズは米陸軍の經費節約額は二百

七十億弗に上る旨左記の如く發表した(單位百萬弗) 必要經費節約額一、二、八〇九
軍需契約價格低減に因る節約額一、二、四一六 人員經費節約額(俸給、旅費、衣料費、
維持費)一、七七五 (八六五七)

八七八〇 米の南部アラビアに於る石油生産計畫 米戰時石油調整局長官イツキーズは

目下米政府がアラビア地方で實施中の精油計畫に基き米國石油會社は近く南部アラビ
アの石油生産に着手する豫定である旨發表した (六〇一四)

八七八一 亞フランス外四國と斷交 アルゼンチン政府はフランス、ブルガリア、ル

マニア並にハンガリー各國と斷交した旨發表した (八七〇七)

八七八二 テリ―駐重慶政權代理公使任命 前上海テリ―領事ホアン・マリソが駐重慶

政權代理公使に任命された (八六〇六)

八七八三 ソ聯亡命ユーゴスラヴィア政權の提案拒否 モスクワ放送局は亡命ユーゴ

スラヴィア政權が昨年十一月中旬ソ聯政府に對し相互援助戰後協力條約の締結を提
案したがソ聯政府はユーゴスラヴィアの情勢が明確を缺くことを理由に之を拒絶し
た旨放送した (八七二〇)

八七八四 ラトヴィア壯丁召集 ラトヴィア國防軍當局は國境警備を強化するため各年

度の壯丁を召集することに決定した

(四七九八)

八七八四 西フアランへ黨會合竝に中立堅持方針表明 スペインのフアランへ黨はフラ

ンコ統領司會の下に政治委員會を開催した

スペイン政府は、政府は中立の拋棄を強要する一切の壓迫を絶對に拒否する方針である、スペイン政府の中立は絶對且つ主權に基くもので凡ての國家は之を尊重しなければならぬ旨の中立堅持方針を發表した

(八六九六)

二月五日 土曜日

(103)

八七八六 マーシャル諸島方面戦況　　マーシャル諸島方面戦況が左の如く大本營から發表された

一、敵は航空母艦、戦艦を基幹とする有力なる機動部隊と基地航空部隊とを以て一月三十日朝來連續ルオットRuot、クエゼリン Kuezyerlin、ウオツゼ Wotze、マロエラツプ Ma Loelap、ブラウン Brown 其他マーシャル諸島全域に亘り砲爆撃を行ひ二月一日にはクエゼリン及ルオット島に上陸した

二、所在帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は此敵を邀撃し二月一日迄に敵機五十二機を撃墜二十四機を撃破驅逐艦二隻を撃沈巡洋艦驅逐艦各一隻を炎上せしめた

三、クエゼリン及ルオット島に於ては所在陸海軍守備部隊は上陸し來れる敵の一部を撃退する等守備地域を確保してゐる (八七六〇)

八七八七 米機ラバウルに來襲　　帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊擊退せる敵機約二百機中五十五機(内不確實十二機)を撃墜三機を撃破した、我方未歸還一機 (八七七四)

八七八八 我陸海軍航空部隊アゼドン及クタコンダに進攻　　ビルマ方面帝國陸軍航空部隊は朝地上部隊に協力大編隊を以てアゼドンに進攻應戦し來れる敵戦闘機二十機と交戦其十五機(内不確實六)を撃墜道路上に充滿する敵車輛部隊及第一線砲兵陣地を爆

碎し其主力を炎上沈黙せしめ全機歸還した

帝國海軍航空部隊は印度ベンゴール灣沿岸チヤトラプールの南西タタコンダ Cutacorda の敵軍事施設及附近航行中の輸送船團護衛艦を爆撃し全機歸還した(八七七三)

八七八九 獨空軍英本土襲撃 英空軍省發表に依れば獨空軍は夜英本土東南部及アングリヤ東部を爆撃損害を生ぜしめた (八七六二)

八七九〇 米海軍開戦以來の損害 米海軍省は開戦以來の米海軍並に海兵隊及沿岸防備隊の損害は三萬七千九百九十六名に達する旨次の如く發表した

戦死一五九二九 戦傷八三八七 行方不明九三三四
俘虜 四三四六 計三七九九六 (八七六三)

八七九一 米國民の過剩購買力 米財務省調査統計部長デヨード・ハス Dr. George G. Haas

は下院歳出委員會に於て、一九四四年に於る國民購買力は一千二百六十億弗に上ると推定されるが之に對する民需品供給額は僅かに九百億弗に過ぎず國民の過剩購買力は三百六十億弗に達すべく此處に悪性インフレーション發生の原因が存在する旨を述べた (七七五五)

八七九二 米金屬工及フォード自動車工場罷業 オハイオ州の八軍需工場の技工、金屬工二萬餘名が聯邦労働關係局の干渉に反對し罷業に入つた
ニュージャージー州フォード自動車會社組立工場従業員三千は突如無通告の盛罷業を

開始した

(八七七〇)

(105)

八七九三 ウクライナ人民委員會議々長並に外務人民委員任命 ニコラ・セルゲイヴィチ。

クルシフ Sergei Vitch Khurshev がウクライナ共和國人民委員會議々長にアレ

クサンドル・コルネイチユーク Alexander Korneichuk が同外務人民委員に夫

々任命された (八七四七)

八七九四 伊二將軍一提督逮捕 イタリア社會主義共和國政府はダルマツユ、スクエロ

兩將軍並にマトウチ提督の三名を逮捕した旨發表した (八四八六)

八七九五 西伊三船を釋放 スペイン政府はバドリオ政權の降伏以來スペイン諸港に

抑留中のイタリイ汽船の中三隻に出港を許可した (八七八五)

八七九六 エストニア首府戒嚴狀態 エストニア政府は赤軍が國境に接近してゐる現狀

に鑑み首都レヴェルを一時戒嚴狀態に置くことに決定市民に對し即刻同市を撤退する

やう勸告した (八七八四)

八七九七 イラク首相シリア訪問 イラク首相ヌリ・サイドはシリア政府の招待に應じ

ダマスカスに到着した (八二八六)

八七九八 衆議院必勝決議案可決 衆議院本會議に於て必勝決議案が滿場一致可決せら

れた (八七二二)

一月六日 日曜日

(106)

八七九 九 ロンドン空襲 英空軍省發表に依れば獨逸軍爆撃機隊は早曉ロンドン地區及

インダランド東部に東南部を襲撃損害と死傷者を生ぜしめた (八七八九)

八八〇〇 ネットツノ上陸反樞軸軍後退 アンチオ。アルバーノAnzio。- Albano 街道の

要衝アブリリア北方に迄進出したネットツノ上陸反樞軸軍はケツセルリング Kesselring

元帥麾下の獨逸の反撃に遭ひ退却した、反樞軸軍司令部はローマ進軍英軍部隊は獨逸

の反撃に遭ひ後退目下陣地の整理と強化に努めてゐる旨發表した (八六一二)

八八〇一 ヘルシンキ空襲 フィンランド軍司令部發表に依れば約二百機の敵空軍編隊

は夕刻より夜間に掛け數次に亘りヘルシンキに來襲爆弾及毒夷彈を落下し市内外の建

築物に損害を與へた、市民の損害は死者三十八名負傷者二百三十二名である

(八七五九)

八八〇二 米艦二隻進水 米海軍省發表に依れば巡洋艦アトランタ號及新型驅逐艦ロウ

リー號が進水した (八六八八)

八八〇三 米陸軍情報部長更迭 リスポン發朝日特電に依れば在インド米空軍司令官少

將クレイトン・ピツセルはジョークストロングに代り米陸軍情報部長に任命された

(八六一五)

八八〇四 米アラビア石油會社間アラビア石油開發協定調印 米内相兼米國石油貯藏會

社總裁イツキーズは、米國政府と在アラビヤ米國系二石油會社との間に資金一億三千萬弗を以てアラビヤ油田地帯より地中海沿岸に至る送油管を敷設し米陸海軍用に恒久的に百萬バーレルの石油貯藏を圖る極旨の協定が調印された旨發表した(八七八〇)

八八〇五 ローズヴェルト第四回立候補反對委員會 リスボン發同盟電に依れば元陸軍

長官ハリ！ウツドリントン HARRY H. WOODRIDGE を委員長に元アイオワ州國務長官ロバ

ト・オプライアン Robert E. O'Brien を幹事長とするローズヴェルトの第四回大統領

選挙立候補反對の民主黨員より成る米國民主黨全國委員會が組織された(八六一九)

八八〇六 亞日獨兩國人の對外連絡停止 アルゼンチン政府の發表に依れば同國在留日

獨兩國人と其母國間の通信連絡は夜半から完全に遮断された (八七八一)

八八〇七 佛男子徵用布告 佛政府は一九二四年一月一日から同年五月三十一日迄の期

に生れた男子全部を徵用佛青少年勤勞奉仕團に編入する旨布告した(八二七五)

八八〇八 重慶政權西藏郵政處接收 廣東發同盟電に依れば重慶政權郵政總局では西藏

郵政處を接收することとなり彭政林を同地區郵政局主任に任命した(六七五五)

八八〇九 衆議院自然休會 衆議院は五日の本會議を以て全議案を議了し本日より自然

休會に入つた (八七九八)

二月七日 月曜日

(108)

八八一〇 米英空軍北佛に來襲 リベレーター及空の要塞約一千機より成る米英空軍は朝

(八八〇一)

パリ近に北佛一帯に大規模爆撃を行つた

八八一〇 ヘルシンキ空襲 ソ聯空軍は六日夜半から本日午前三時半に亘りヘルシンキ

(八八一〇)

を爆撃した

八八一二 ニューギニア島濠洲軍司令官退役 濠洲陸相フオードはニューギニア方面濠

(七五四六)

洲軍司令官中將エドモンド・ヘリング Edmund Francis Herring が軍務を退きグイク

トリア州大審院長に任命された旨發表した

八八一三 米航空母艦進水 米海軍省發表に依ればエセツクス級航空母艦テイコンデロ

(八八〇一)

ガ號が進水した

八八一四 米議會増稅案可決 米上下兩院協議會は二十三億一千五百萬弗の増稅案を可

(七九六九)

決白亞館に回付した

八八一五 昭和十九年度總豫算案成立 昭和十九年度總豫算案は午前貴族院本會議に於

て可決成立した議會は右を以て全議案を議了し明八日より自然休會に入ることとなつた

八八一六 昭和十九年度衣料切符 昭和十九年度に於る纖維品の供給確保に關する措置

(四三五九)

要綱が發表せられ昭和十九年度衣料點數は數へ年三十歳以上の者に四十點同未滿の者
に五十點が來る四月に交付されることとなつた

一月二十七日 木曜日

補遺 八八一七 米陸海軍兩省の日本軍の俘虜虐待に關する共同發表 米陸海軍兩省は比島の日軍俘虜收容所から脱走した米軍將校三名の供述に基き日本軍の俘虜虐待に關する共同發表を行つた (七九八七)

一月二十八日 金曜日

補遺 八八一八 日本軍の米俘虜待遇に關する米國務長官の聲明 米國務長官ハルは、比島バタアン及コレヒドール陥落直後三萬六千の米軍俘虜の半数は食物を與へられずして遂に死亡するに至つた旨及米政府が米俘虜並に抑留者に醫療藥品、食物、衣服等の支給を提議したが日本政府は之を拒絶した旨聲明した (八八一七)

補遺 八八一九 日本の英國俘虜待遇に關する英外相の下院に於る言明 英外相は下院に於て、泰國に於る英帝國の俘虜は十分の衣服食糧も無く其の健康状態は急速に悪化しつつある、香港北部並に上海に於る待遇は許さるべき程度であるが香

港市内に於る状況は漸次悪化しつつあるやうに見える、更に英人俘虜千八百名を載せて香港出帆航行中のリスボン丸が反樞軸軍潜水艦の雷撃を受け、一時沈没、遂に二十四時間もかかりながら日本軍の不当な措置に因り八百名の俘虜が溺死した旨、及英政府はスミス政府を通じて日本政府に抗議したが、回答は回避的乃至満足出来ぬ種類のものではあつた旨を述べた (八八一八)

一月三十日 日曜日

補遺 八八二〇 萬國赤十字社日米兩國に特別委員派遣 ジュネーヴの萬國赤十字社は日本軍の俘虜待遇問題(八八一八)に就して日米兩國に特別委員を同時に派遣する旨發表した (八七一五)

二月四日 金曜日

補遺 八八二一 米艦艇の北千島砲撃 米艦艇北千島に來襲、午後九時三十分頃より約四十分間に亘り米艦艇數隻北千島に盲砲撃を行つたが、我方假泊中の船艇一隻に輕微な損傷を受けた外被害はなかつた (八六四八)

二月五日 土曜日

補遺

八八二二

米機ハンサに來襲

ニューギニア島ハンサ地區に午前二時に亘り米機

爆連合艇百十三機が來襲したが我空陸部隊は之を過半数焼討計十九機を撃墜した、

我方の被害戦死一員傷數名

(八七八七)

二月六日 日曜日

補遺

八八二三

米機ラパウに來襲

帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊はラパウ

ルに來襲せる米機約百六十機中二十七機(内不確計十四)を撃墜した、我方の

(八八二二)

損害未歸還三機

補遺

八八二四

敵機北千島に來襲

敵機數機五日及本日(八八二一)に亘り北千島に來襲爆

彈數發を投下し遁走した、我方損害なし

(八八二一)

補遺

八八二五

我軍センドウ方面の敵の退路遮断

トングバザー Taung Bazaar の

りマユ山系を襲撃せる我有力なる支隊はナイアングアン Naingungraung の

橋梁を焼破し向地附近を遮断しセンドウ方面の敵の退路を遮断した

(八七七三)

二月七日 月曜日

補遺 八八二六 米機ラバウルに襲來 帝國海軍航空部隊並に海軍守備部隊はラバウルに襲撃した米機約二百機中四十五機（四不確實十五）を撃墜した、我方の損

（八八二三）

害未歸還一機

補遺 八八二七 我軍七イロン島カルクダ空襲 我海軍航空部隊は未明七イロン島の要

（八八二五）

衝カルクダの敵陣地施設を襲撃之を爆砕した

補遺 八八二八 米陸軍の魯蒙工場接收 マサチユセツ州フォールリウア所在七織維工場の産業別組織會議系労働者は適日米軍中であつたが日大統領は本日陸軍

（八五七一）

をして同魯蒙工場を接收せしめた

補遺 八八二九 米人造設生産高 米國設設統制局長官ブラッドリー・デニールは、

一月中に於る米國人造設生産高は約五萬噸に達したが本年 下半期には月額七萬五千噸に達することが期待される旨言明した

（五〇九七）

×× ×× ×× ××

二月八日 火曜日

八八三〇 獨逸ニコポリ橋頭堡撤退 獨逸統大本管後表に依れば東部戰線西部地區の獨

軍はドニエプル河下流西岸のニコポリ Nikolopol 橋頭堡から撤退した(八七三三)

八八三一 米機ドイツ襲撃 獨軍官局の言明に依れば米軍機撃は念天候を利用して正午フランクフルト・アム・マインに來襲したが獨空軍は少くとも其四發機撃機二十五機を撃墜した (八七七六)

八八三二 米潜水艦二隻喪失 米海軍省は米潜水艦シスコ Chicago 及 S 四四號一二五五噸が太平洋方面に於て作戦中滲定期日を経過するも基地に歸還せず喪失せるものと認めざる旨發表した (八五二八)

八八三三 米一九四三年の稅收高 米財務省官局は一九四三年の全聯邦稅收入高は三、九二四、五三〇千弗に達し一九四二年の一、六七七、四四一、六千弗に比較して約倍増となつた旨發表した (八三三九)

八八三四 米出征將兵投票法案上院修正可決 米上院は出征將兵投票法案を修正の上四十六票對四十票を以て可決した (八七六五)

八八三五 米國の對重慶政權救恤品送付高 米國重慶政權救濟會長ジエームズ・マツコノイは、一九四三年中に米國は重慶政權に對し總額八六一二千弗の救恤品を送つたが右は一九四二年に比較して三、五〇〇千弗、一九四一年に比較して五百萬弗の増加である旨發表した (八四二一)

八八三六 米芬に戰事離脱警告 米國務長官ハルは記者會見に於て、米國政府は最近其

外交代表を逐じフィンランド政府に對し直ちに戦争より離脱するやう警告した旨言明した

(八七五九)

八八三七 芬首都疎開命令布告　フィンランド防空司令部は赤軍の同國爆撃に鑑み、一切の婦女子、老人等に十六歳以下の兒童及六十歳以上の老人は直ちにヘルシンキを立退くべし、當局は首都の一部疎開の便宜を計り特別の輸送を組織化すると同時に小中學校に専門學校を閉鎖する旨布告した

(八八一)

八八三八 英佛解放委員會經濟協定調印　英藏相アンダーソンは下院に於て英國政府と佛解放委員會との間に爲替相場を英貨一磅に對し佛實二百法と定め佛解放委員會治下の全地域に於て直に實施し且つ兩國は共同戦争遂行の爲め無償で互に器材を供給し合ふ趣旨の協定が調印された旨發表した

(八三八三)

八八三九 白ロシア共和國人民委員會議々長任命　白ロシア共和國共產黨中央委員會書記長ポノマレフが同共和國人民委員會議々長に任命された

(八七九三)

八八四〇 第八十四帝國議會自然休會　第八十四帝國議會は七日の貴族院本會議を以て全議案を議了し本日より自然休會に入つた

(八八一五)

二月九日 水曜日

(115)

八八四一 米機ラバウルに來發 帝國海軍航空部隊前に海軍守備部隊はラバウルに來
襲した米機約二百二十機中四十五機（内不確實十一）を撃墜した、我方の損害未詳
五機 (八八二六)

八八四二 米軍のトロア島砲撃 夜敵砲撃機五機を驅逐機がマーシャル諸島マロエラ
ツブ環礁トロア島に來襲砲撃を行つたが同島我守備隊は之と交戦撃退した、我方の
損害は輕微であつた (八七八六)

八八四三 ソ聯空軍のラトヴィア襲撃 ソ聯空軍はラトヴィア（八七八四）の首都リガ
Riga を爆撃した (八八一)

八八四四 開戦以來の米海軍損害 米戦時情報局は開戦以來の米海軍兵員の損害は
左記の如く總數一五〇、四七八名に達する旨發表した

戦死 三、四一七九 負傷 五、二九二 行方不明 三、四七四六
俘虜 三〇、二六一 計 一五〇、四七八

尚ほ海軍別損害は陸軍一一、二〇三〇、海軍三八、四八八名である (八七九〇)

八八四五 開戦以來の濠洲軍の損害 濠洲首相カトニツは下院に於て戦争開始以來濠洲
軍の損害は次の如く總數六六、九三〇名に達する旨發表した
一、死傷者總數六六、九三〇 内戦死一、六四八〇

一、右の中対日戦に於る損害は次の通り

戦死 四、五〇〇 負傷 七、五〇〇

俘虜 一、九〇〇

(八四〇二)

行方不明 七〇〇 計 三、六六〇

八八四六 米驅逐艦進水 米海軍省發表に依れば護衛艦逐艦ミツチエル(Mitchell)が進水

した

米ニュージャージー州カーニの造船所に於て大型驅逐艦クーパー(Cooper)が進水した (八八一三)

八八四七 米國食糧助成金總額制限法案上院否決 米上院は民主黨議員フランシス・マ

ロニー提案で政府當局の支持を受けてゐる一九四四年度の政府食糧助成金總額を十五億弗に制限せんとする法案を四十九票對二十六票を以て否決した (七八七九)

八八四八 一九四三年中の米國貿易高 米商務省は一九四三年中の輸出高は一、三七一六

九二二千弗で前年に比較して五八%増、輸入は三、三六八〇九千弗で一九二九年以來の最高記録を示した旨發表した、向輸出の大部分は租賃法に依る輸出である (八三七〇)

八八四九 米國務省次官補會員決定 米國務長官ハルは記者會見に於て、國務省最近の

事務繁忙に鑑み國務次官補を二名乃至三名増員することとなつた旨發表した

(八五三一)

八八五〇 ドイツ戦時經濟に關する獨經濟相の演説
ドイツ經濟相ワルター・フンク博

士は國立銀行總會に於て演説を行ひ、今次戰爭に於るドイツ經濟政策はドイツの重工業生産を極度迄増化することである、米英兩國は通貨問題に關して極度の困難に遭遇して居るが健全な通貨組織は經濟的に健全な國家にのみ可能である、ドイツは現在同様將來に於ても如何なる困難にも打克つ絶對の自信がある旨を述べた（五七七〇）

八八五一 在英印度人徵用法通用免除要求
ロンドンに於るスワラヂ・ハウス常設委員會は、前スワラヂ・ハウス幹事長スラツシコ・ヴァイデイヤは英労働者の召集に應じないため軍醫に引渡されたが英國在留インド人に對して國民徵用法の通用免除を要求する、今回の戰爭が果して自由の爲の戰爭であるならば先インドに自由を與へることが先決條件である旨聲明した
（八五九九）

二月十日 木曜日

八八五二 印緬國境に於る戰況
トングバザ一附近に於てマユ河を通行渡河し同河右岸

地區を兩進せる我部隊はブネドン正田より敵線を突破北進せる部隊と共にマユ山系以東の敵主力を包圍攻撃中である旨大本營から發表された
（八八二七）

八八五三 敵艦ワオツゼ局砲撃
朝マーシマル諸島ウオツゼ島に敵巡洋艦及驅逐艦數隻來襲艦砲射撃を加へて來たが同島の我守備隊は之を交戦撃退した、我方の損害輕微
（八八四二）

八八五四 米機ラパウル及ウエワクに來襲 米機二百九十五機ラパウルに來襲我海軍艦

空部隊並に陸海軍地上部隊は其七十機（内不確實十三）を撃墜した、我方の損害未歸
還十三機

米機爆連合八十機機がニューギニア島ウエワク飛行場に來襲我高射砲隊は之を撃墜B
25二機B24一機を撃破した、我方の損害は地上に於て一機炎上したのみ

（八八四一）

八八五五 敵機濠谷に來襲 夜十時半頃敵十機機パンコツクに來襲したが日泰兩軍戦闘

機及對空火器の邀撃に遭つて盲爆した後遁走した、我方には大使館に被弾があつた他
損害輕微

（七八一四）

八八五六 獨軍アブリリヤ市奪還 獨軍最高司令部發表に依れば獨軍はタンチオ・アル

バーノ街道の要衝アブリリヤ市並に同停車場を占領した

（八八〇〇）

八八五七 赤軍フィンランド空襲 フィンランド軍當局の發表に依れば赤軍飛行機百五

十機が夜コトカ市 Kootka を二時間に亘り爆撃市民の間に死者八名負傷者二名を出した

（八八四三）

八八五八 俘虜待遇に關する米の反日宣傳に關して獨政府當局見解表明 ドイツ政府當

局は、米國は日本軍が俘虜を虐待したと稱して盛に宣傳してゐるが右は戦終に於る日
本處置計畫と一脈相通するものがある、敵の破壊的企圖は東亞共榮圈にも向けられて

居る、彼等は無制限の帝國主義を樹立する爲民衆の抑壓と搾取を目的として居り米國の俘虜待遇に關する對日抗議は要するに米國民の敵愾心を昂揚する爲の懷芝居に外ならない旨の見解を表明した
(八八二〇)

八八五九 反樞軸軍南部イタリーをバドリオ政權に移讓 地中海方面反樞軸軍司令官ウ
イルソンはイタリー南部、シチリア島及サルヂニア島の支配權を十一日からバドリオ
政權に移讓する旨言明した
(八〇九八)

八八六〇 米中部太平洋方面二司令官進級 中部太平洋米國艦隊司令官中將レイモンド・
スブルアンスは大將に、中部太平洋米國水陸兩用部隊司令官少將リツチモンド・ター
ナーは中將に夫々進級した
(七九四九)

八八六一 在イラン米公使館昇格 米國務省は米國イラン兩國の關係緊密化に鑑み在テ
ヘラン米國公使館を大使館に昇格する旨發表した
(八一七九)

八八六二 米次年度造船計畫 米海事委員長ランドは下院歳出委員會に一九四四―四五
年度の造船計畫に關する報告を提出し、米國は同年度中に六一四七〇二九千弗の豫算
を以て二三五九隻を建造せんとするもので本計畫に於てはリバティ型船に代りヴィク
トリ型船一、三一一隻の建造が其の中核を爲して居り豫算三、九四一、一〇〇千弗之に充當
されてゐる旨を述べた
(八七六六)

八八六三 米上院食糧助成金に關するタフト案否決 米上院は共和黨議員ロバート・タ